

商 況

販 賣 旬 報 第 225 號 昭和 8 年 4 月 1 日

製 鐵 所 販 賣 部

三 日 會 の 成 立—ガイドレールの進出

月日場所 3 月 30 日 製鐵所東京出張所

出 席 者 三井、三菱、日立及製鐵

議 事 エレベーター用ガイドレールの販賣組織の件

「線材、薄板、鉄力」を防ぎ得ざる敵として慷慨したのは僅か 3、3 年前の事に屬するが、其後本邦鐵鋼界の躍進は實に目醒しく、最近殆んど敵影を見ざるまでになつた。

然し年間 200 萬噸の消費中を仔細に搜索すれば、未だ相當の匪賊が横行して居る。1 昨年は鋼矢板を射止めて此の侵入を防いだが、引き續いて今迄我視野外にあつた此のエレベーターレールに著目し爾來之が製作と販路に付き考慮中であつたが、愈々試作も好成績を以て完了し市場に進出得るまでになつたので、他の特殊品と同様會組織により之が販路の擴張と統制を期することゝなつて、會員三井、三菱、日立の各會社と初會合をなし次記に就き協議し三日會の成立を告げた。

記 1、會 名 三日會 2、建値方法 3 ヶ月に 1 回建値すること。3、其他長さ、數量、引取方法等に付き協議した。

4、5 月積スコップ用鋼板賣出協議會—10 圓上げ

月日場所 3 月 23 日 製鐵所東京出張所

出 席 者 三井、岩井及製鐵

議 事 4、5 月積スコップ用鋼板賣出に關する件

スコップ用鋼板は元來中板と鋼質に基礎を置くべきものにてそれより見れば大凡 108—90 圓程度にて別項外注値段よりの逆鞘の如きも此はチエコ製品にて素質も當所品とは異なるを以て之は單に參考事項として加味し發表値段は 10 圓上げの次記に決定した。

170 圓 (10 圓上げ) 數量は他鋼材との振合より 50 噸減少して 250 噸の引受と決定した。

Continental Quotation Shovel Sheets

March 22nd, 1933.

1'85mm x 4' x 8'

April/May shipment

cif	\$	26'20
Ex. @ \$ 21¼	¥	123'34
Duty	¥	32'01
Charge		2'50

per 1'016 kg	¥	157'85
" 1'000 kg	¥	155'36

4、5 月積縞鋼板賣出協議會—値上げ

月日場所 3 月 24 日 製鐵所東京出張所

出 席 者 三井、安宅及製鐵

議 事 5、6 月積縞板賣出に關する件

内地市況は一時期の馬鹿値はなきも未だ 104—50 圓 見當を彷徨し、厚板、中板共若干の値上げをなす程堅調を辿り居る際なれば、縞板としても据置きとなす理由もなきを以て兩者を参照して若干値上げすることゝした。數量は工場能力關係其他を顧慮し前月より 80 噸を減じて 230 噸賣出すことゝした。

4、5 月積鉄力板の引受

4、5 月積鉄力板申込及引受高

區 別 先	申込高	引受高		
		100lbs	170lbs	計
東大名共	—	81	181	262
京阪	—	86	202	288
古	—	7	16	23
他	—	7	20	27
計	—	181	419	600

工場能力整理の關係上前月と同様 600 噸の引受到留めた。之は一般鋼材の生産から考へて眞に己むを得ざる事情と思はれるが、一面増産が實現する迄の過度的事象としては何れは昔の語り草となる日も遠くはあるまい。

三 軌 會—5 圓上げ

月日場所 3 月 25 日 製鐵所東京出張所

出 席 者 三井、三菱及製鐵

議 事 4、5、6 月積重軌條賣出に關する件

外注は前回が磅建なるに反し今回は弗建なるを以て cost の比較に就ては適確なる處は不明なるが河岸着に於ては 15 圓翳みの値下りを示し結局噸 146 圓位となるも、未だ相當値鞘もあり且つ他の鋼材値段との均衡も考慮し次記の通り次回三軌會まで 5 圓上げと決定した。

次 記 重軌條一般賣値段(繼目板込) 145 圓(5 圓上げ)

SANKI-KWAI

(From Continental Makers) Tokio, March 24th, 1933.

Heavy Rails		Splice Bars	
Cif. Japan	\$ 25'75	\$ 35'75	
Ex. @ \$ 20-¾ (7 月)	¥ 124'85	¥ 173'33	
Dft. Int. 1%	1'25	1'73	
Import Duty	21'71	21'71	
Landing Chgs.	0'80	0'80	
Per long ton.	@ ¥ 148'61	@ ¥ 197'57	
One mile	{ 60 lb. (30 kg.) Rails		
	¥ 148'61 x 94'29 L. Tons = ¥ 14,012'44		
	{ Splice Bars.		
	197'57 x 4'356 L. Tons = ¥ 860'61		
	¥ 14,873'05		
	¥ 14,873'00 ÷ 101'2'0 k. T. = @ ¥ 146'88		
	Rails & S/B. average per k. T. ¥ 146'00		

5 月積珪素鋼板の引受

珪素鋼板も何れ遠くない將來には増加されるであらうが、前月迄 1,100 噸の引受をなしたものが、過渡的事實として大勢に押され 100 噸を減じて 1,000 噸の引受けとなつた。申込としては賣出の際 1,093 噸であつたが之は特に申込として受けることなく例により直ちに引

昭和 8 年 5 月積珪素鋼板申込引受高

品 種 法	B 級	C 級	D 級	T 級	計
0'35mm	390	—	112	193	695
0'43mm	265	—	—	—	265
0'5 mm	30	10	—	—	40
計	685	10	112	193	1,000

受割當をなした。

5、6月積の美装鋼板受引

5、6月積美装鋼板申込及引受高 (単位吨)

品 種 法	白 鷺	赤 鷺	白 鳩	赤 鳩	計
B.W.G. # 22	25,000	1,000	15,000	—	41,000
" # 20	20,500	1,000	12,500	—	34,000
" # 19	10,000	—	12,500	—	22,000
" # 18	9,500	3,000	15,000	—	27,500
1.6mm	78,000	24,000	40,500	—	142,500
2mm	2,000	—	12,500	—	14,500
2.3mm	12,000	10,000	7,000	—	29,000
3.2mm	61,250	5,000	75,000	—	141,250
計	218,250	44,000	190,000	—	452,250

之も珪素鋼板同様どうせ賣出數量が申込を消化することが出来ないと云ふことが最初から分明して居るので形式的の申込は受けず、例月の通り賣出數量を直ちに割當てた。美装鋼板の需要は中板の騰勢、外品の驅逐によつて益々販路が擴張されるので現在の買需家の注文だけでも 1,000 吨以上問屋向を加へると恐らく 1,500 吨を超えるであらうとの事である。

5、6月積線材共販賣出理事會

月日場所 3月22日 東京丸ノ内會館

出席者 神戸、製鐵及び5社

議 事 5、6月積線材賣出に關する件

1、買手側提案 (1) 契約品に對する積出豫定發表願度し

(2) 製鐵所、神戸、製鐵所製品受渡は均衡を保つため今回賣出は

(イ) 積 月 5、6月積 (ロ) 數 量

製 鐵 所	鐵 戸	内地向	輸出向
神 戸	鐵 戸	2,000吨 9,000吨	2,000吨

(ハ) 値段据置 内地向 130 圓 輸出向 115 圓

説 明 (1) は現在相當數量の積遅れ品を擁して操業等の目安の爲め積遅れの整理時期を簡単にても承知したし

(2)(イ) 共販の線材は大體 1 ヶ月若しくは 2 ヶ月の積遅れありて何時か整理を要するの機が到るものと豫想さるゝも其時期を成る可く早く整理するが至當と考ふるが是は共販自身の關係もあることにて買手のみの獨斷によるを得ざるも整理方法としては今回の賣出しを中止し來月に行ふか (2) に書きたる如く限月の延長をなすか兎に角共販側に適當と思惟する所置により整理をせられたし

(ロ) 製鐵所が大部積遅れある模様なるを以て大體此位の數量にて賣出されたし (ハ) 外注も前同と大なる變化なく、市場は無い物値段にて狂相場なるも之も甚だしく不安なるを以て今回は据置きとせられたし

2、理事會 (1) 限月延長 買手の希望もあり共販としても此際限月を延長し定期先物共 1 ヶ月延長して積遅れ等の整理をなすこととした。

(2) 數 量	内地	輸出
神 戸	8,000吨	1,500
製 鐵	3,000	1,500
計	11,000	1,500

輸出は前回 4、5 月積を賣出したるを以て内地向と異なり 1 ヶ月休むことなし

(3) 値 段 外注値段と内地の環境よりして内地向を 5 圓上げ、輸出向を据置の次記の通り決定した。

内地向 135 圓(5圓上げ) 輸出向 115 圓(据置)

(4) 四圍の狀勢上締切を行はず共販にて適宜割當つることとした

共販繼續の件 3 月盡日を以て線材共販の期間満了となる處向ふ 1 ヶ月繼續の事に決定した。

Wire Rods April May Shipment

Cif.	£	7-10-0
Exch. 1/2 13/16	¥	131.52
Int. 1.58		1.58
Landing Charge		.90
	¥	124.00
1,000 kgs.		122.17 In bond
Duty		21.67
	¥	143.84

4、5月積黒板共販賣出理事會

月日場所 3月26日 東京丸ノ内會館

出席者 川崎、中山、徳山、日鋼、製鐵及 4 社

議 事 4、5月積黒板賣出に關する件

1、買手の希望提案 4 月積薄板(東西 4 社案)

(1) 値段 薄 物 (内地向) 据置(210 圓)

" (輸出向) 20 圓値下げのこと

厚 物 (内地向) 据 置

" (輸出向) 25 圓値下げのこと

(2) 賣出數量 薄物 (内地向) 精々少く賣出願ひ度し

" (輸出向) 精々多く賣出願ひ度し

厚 物 (内地向) 申込を參照し賣出願ひ度し

" (輸出向) 精々多く賣出願度し

(3) 浪原エキストラ撤廢願度し

(4) アウトサイダーに對する對策を承り度し

説 明 (1) 現在鋼材界は稀有の好況に恵まれ、常世の春を謳ふに反し薄板のみは已に反落時代に入り、昨日の不足は今日の過剰となり、あれほど品不足を訴へ數ヶ月前の模様とは掌を翻す如く急に賣行悪く荷動き無く鍍金業者のストックが漸増するに連れて鍍板の値段も漸落歩調著しく東京にて 87-8 錢、大阪にて 90 錢搦みを唱へ居るを以て買氣全く鎮磨しあるを以て内地向を据置きとし、其餘力を輸出向に轉換する爲め輸出向の値下げを斷行されたし。

厚板も同様の状態なるを以て薄物同様の處置をせられたし。

(2) 以上の趣旨に基き内地向を出來得る限り減少し輸出向を多量に賣出されたし。

(3) 輸出値段と對照して浪原エキストラは是非撤廢願度し。

(4) 前月も提案したるも例のアウトサイダーが大阪にては自家用とし、東京方面にては鶴見及千住兩所よりの厚板市場に進出し來りそれも今迄は僅少なりしも工場設備が完了するのと外注シートバーが採算に合ふ様になりたるを以て益々鮮かに進出し來り是を此儘放置すれば、益々侵蝕されつゝある故 4 社としても考慮すべきも共販としては是非慎重に御勘考の上對策承り度し。

2、理事會 (1) 値 段

A 薄 物 今回は値段上考慮すべき點は從前の通り外注値段のみに據るを得ずアウトサイダーへの對策も加味せざる可らず、然し若しアウトサイダーの對策とすれば餘程の値鞘を設くる必要あるも市場への影響を考ふる時は此際値下げも敢行し得ず結局買手希望通り今回の内地向は据置とするより外無しと云ふことになつた。

輸出向に就ては買手の 20 圓下げは外注値段より見ても何等の根據無く、海外も現在は滿洲向けのみにて南支那、南洋方面も現在はオヴァーストックなる故大なる需要無き様考へらるゝも、一面近き將來に需要ある様にも思へるを以て是等を加味して 10 圓下げとし

買手希望に添ひて浪原のエキストラ撤廢とするを可とすべしと云ふ意見の一致を見たが、買手側が内地不況の折柄是非共輸出に轉換して氣分の立直しを企圖する爲め 20 圓下げ主張したるが、其も此際相當理由あることゝ認めたるを以て之を容れ 20 圓下げを斷行した。

B 厚 物 内地向は外注値段を見る時は、物により整理の必要あるものも散見するも今回は買手希望通り据置きと決定した。

輸出は追々内地向が窮屈となるに従つて海外進出を必要とするに至りたるを以て建値をなす必要あり、値段は之も買手希望通り 25 圓下げとなつた。

決 定 値 段

薄 物	内地向	輸 出 向
13 枚物	210 圓(据置)	170 圓(20圓下げ)
6 呎	浪原エキストラ撤廢内地、輸出共 13 枚物と同値	
7 呎		
8 呎		
厚 物	内地向	輸 出 向
12 枚物	201 圓(据置)	176 圓
11 "	199 圓(")	174 圓
10 "	197 圓(")	172 圓
9 "	195 圓(")	170 圓
8 "	192 圓(")	167 圓
7 "	190 圓(")	165 圓
6 "	185 圓(")	160 圓
5 "	182 圓(")	157 圓
4 "	180 圓(")	155 圓
3 "	175 圓(")	150 圓

(2) 數 量

A 薄 物 内地市場の勢と各工場の能力の關係もありて、今月は最高 4,000 噸だけ賣出すことゝなつた。

輸出向は申込を見たる上採定することゝした。

B 厚 物 内地向、輸出向共申込の狀態により決定。

(3) 浪原エキストラは前述の通り四圍の勢勢上撤廢することゝした。

(4) アウトサイダーの件に關しては事重大にして、前月以來考慮中にて未だ結論には到達せず慎重對策研究中なるも不取敢共販としては共販の指定商及鐵工場はアウトサイダーのものは取扱はざることを希望す。

3、締切と發表 25 日 締 切、27 日 大阪にて發表

Osaka, March 20th, 1933

Black Sheets quotations FOR DOMESTIC

	3' x 6' x 13 s	Narrows
Cif.	£ 12-5-0	12-0-0
Ex rate 1/2	¥ 196.00	£ 192.00
Interest 1 3/4%	2.55	2.50
Landing	.70	.70
Duty	43.50	43.50
Per 290s	¥ 242.75	¥ 238.70
" 263s	224.32	
	6'-380 s ¥ 0.628	325 s - ¥ 204.10
	7'-320 - 0.746	276 - 205.90
	8'-290 - 0.823	246 - 202.46
Average		¥ 204.15

FOR EXPORT.

	3' x 6' x 13 s	Narrows
Pif.	£ 12-5-0	£ 12-0-0
Ex rate 1/2	¥ 196.00	¥ 192.00
Interest	2.55	2.50
Landing	.70	.70
Per 290 s	¥ 199.25	¥ 195.20
" 268	184.12	
	6'-380 s ¥ 0.514	s - ¥ 167.05
	7'-320 - 0.61	- 168.36
	8'-290 - 0.673	- 165.56
Average		¥ 166.99

Black sheets Quotation April shipment

Ex rate 1/2	Interest 1 3/4%	Landing ¥0.70
Duty ¥30.67 & ¥43.50		
3' x 6' x 3s	£ 7-9-0	¥149.72 per 1,000 kgs.
" x 4s	7-13-3	153.11 "
" x 5s	8-0-0	158.49 "
" x 6s	8-2-6	173.12 "
" x 7s	8-13-0	181.50 "
" x 8s	8-19-0	186.28 "
" x 9s	9-5-0	191.06 "
" x 10s	9-15-0	199.04 "
" x 1s	10-2-6	205.03 "
" x 12s	10-10-0	211.00 "

5、6 月積厚板共販賣出理事會—共販繼續 2 圓上げ

月日場所 3 月 24 日 製鐵所東京出張所

出席者 川崎、淺野、東海、製鐵所及 4 社

議 事 5、6 月積厚板賣出に關する件

1、買手側希望 今日市場向數量にては如何とも需要を賄ひ兼ねるを以て、是非多量の賣出しを願度し、其程度は多々益々辨ずで如何に尨大なる數量も決して驚かざる覺悟なり。此際は全く數量の問題にて値段の如きは共販が無謀の値段を出す管も無き故一切共販側の裁斷に委すを以て適宜處理ありたし。要するに値段よりも數量が問題なる故可然御考慮を乞ふ。

2、理事會 A 數量 買手側より別項の如き熱烈なる要望あり、市場と外注を遙かに上廻りたる或意味の不健全狀態を繼續するを以て多量に賣出したきも、各工場共満腹の折柄にて全部希望を満足せしむることは得ざるも、其意圖を拘み前月より 500 噸増加して次記の賣出をなした。

先物賣出數量約 3,500 噸(但し 6 耗は 2 割以内のこと)

B 値 段 別項外注値段は今は磅建となりたるを以て cost の比較は困難なるも、河岸着としては前月より僅少なる値下りとなるも、海外も堅調を續け其他四圍の勢勢上若干の値上げをなすが至當なるべしとの意見により次記の通り決定した。

5、6 月積先物値段 耳付 107 圓(2圓上げ) 定尺 115 圓(")

厚さ 6 耗ものエキストラ 3 圓

臨時賣値段は前月と同様引合の都度理事會にて協議決定することゝした。

3、締 切 27 日 29 日 發表

外 注 値 段

Cif.	£ 5-12-6
Exch.	1/2-1/4
per Kiloton	¥ 116.83
charges	2.50

4、共販繼續の件 共販は 3 月 31 日期限満了となるを以て向ふ 6 ヶ月間 9 月迄繼續の事に決定した。

5、6 月積線材の締切—(4、5 月積は賣出なし)

積遅れの整理もあつて線材は限月を 1 ヶ月延長して今回は 5、6 月積となつた。従つて神戸製鋼の引受數量も 8,000 噸となつて、内地向は結局 11,000 噸となつた。揚地別で見ると前月に比し東京が

5、6 月積線材申込及引受高

區別	申込高			引受高		
	神戸	製鐵所	計	神戸	製鐵所	計
東 京	—	—	—	1,500	1,527	3,027
大 阪	—	—	—	6,500	1,153	7,653
名 古 屋	—	—	—	—	220	220
其 他	—	—	—	—	100	100
計	—	—	—	8,000	3,000	11,000
輸 出 向	—	—	—	1,100	400	1,500

1,000 吨の増加に對し大阪は 2,000 吨の増加となつた。

輸出向は前月と同様 1,500 吨となつた。

4 月積黒板共販締切理事会—薄物申込 600 吨！

月日場所 3 月 27 日 大阪電気俱樂部

出席者 川崎、製鐵、中山、徳山、日鋼

議 事 4 月積黒板締切の件

1、薄物部 過去數ヶ月間盛況を謳歌せられた薄板も凋落の時が來た。即ち先月迄の申込數量は最低 1 萬 數千吨を降らず頗る順調に推移して來たが鍍金板市況は最近賣行著しく鈍く製品と原板の手持は増加する一方にて地方又アウトサイダーの進出等好ましからぬ材料が現實に顯はれ又顯はれんとしつゝある等の爲め買氣頗る萎縮し、本月の内地薄物は僅々只の 600 吨と吾々の夢想だにせない大激減振りを示した。輸出向は兎に角賣出同様 3,000 吨に達した。

以上何れも申込通り全部引受次表の通り各製造所へ割當せられた

1、厚物部 薄物に反して賣行相當好調なる爲め申込より比較的好成績であつた就中 B・C の厚物の多いことは注目に値せられる、輸出向も 670 吨許りに達し結局全部引受が決定せられた。

イ、申込數量	薄物部		内地		輸出		計
	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計	
	234	60	307	—	10	612	612 吨
厚物部	内地		輸出		計		
	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計	
	1,558	468	428	390	156	3,000	3,297 吨
計	1,793	528	735	390	166	3,612	

ロ、引受數量	薄物部		内地		輸出		計
	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計	
	234	60	307	—	10	612	
輸出	1,558	468	428	390	156	3,000	
計	1,793	528	735	390	166	3,612	

厚物部 内地向	内地		輸出		計		
	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計	
A	125	30	—	2	—	157	
B	532	—	—	482	67	1,083	
C	517	—	—	748	126	1,390	
計	1,174	30	—	1,232	195	2,631	

輸 出 向	内地		輸出		計		
	川崎	製鐵	中山	徳山	日鋼	計	
A	365	10	—	—	10	385	
B	246	—	—	—	15	261	
C	20	—	—	—	—	20	
計	631	10	—	—	25	666	

5、6 月積厚板共販締切理事会—申込 3 萬 7,000 吨

月日場所 3 月 29 日 製鐵所東京出張所

出席者 淺野、東海及製鐵(川崎缺席)

議 事 5、6 月積厚板の申込

厚板の申込と云ふものは 3 萬 5,000 吨中心に定つた様になつた、前々月が 3 萬 3,000 吨前月が 3 萬 5,000 吨、今月がまた 3 萬 7,000 吨である。メーカーの能力も大體分つて居るし、買手としても

5、6 月積厚板申込及引受高

向 先	區 分					計
	東京	大阪	名古屋	其 他	計	
川崎	700	3,500	—	—	—	4,200
淺野	5,040	1,000	—	—	—	6,040
東海	1,300	500	—	—	—	1,800
製鐵	6,700	4,200	130	200	—	11,230
無指定	1,400	11,720	150	233	—	13,503
計	15,140	20,920	280	433	—	36,773
耳付	11,170	15,650	180	40	—	27,040
定尺	3,970	5,270	100	393	—	9,733
計	15,140	20,920	280	433	—	36,773
引受高			3,290			3,290
耳付			210			230
定尺			3,520			3,520

引受の見當は付いて居るが、去りとて餘り尠い數量の申込も他社との振合も考へねばならぬので結局斯う云ふ結果となつたらしい。

引受は若干能力の餘裕が出来て前月より 300 吨増加の 3,520 吨となつた。

中板共販繼續の件 3 月 15 日の理事会に於て中板共販は 3 月 31 日を以て満期の處 9 月盡日迄向ふ 6 ヶ月間繼續のことに決定した。

ブラッセル齋藤囑託通信 3 月 21 日 入電

市場稍活氣を呈し來りたるも相場は鋼板の 3—7—6 を除き前電と變らず保合つてゐる。因に 3 月 5 日入電鋼板 $\frac{3}{16}$ " の相場は 3—4—0 である。

3 月 4 日 發 信 市況は前週に引續き閑靜にて相場は漸落致し候得共近く國際カルル共販機關組織の運用を見るに至らんと前途一般に樂觀致居候 多分 4 月 1 日よりと申候

東 西 市 況—堅調

來勘には相當期待を繋がれて居たが年度變りの關係か思ふ程の引き合もなく、落ち付き模様であるが其割には値段への影響は認められず、概觀して堅調を續けて居る。之れも現在に於ける市場が大部荷が輕くなつて居ること、漠然たる先高氣構の爲めと見られて居る「取らぬ狸」ではあるが年度變りともなればインフンの有難い影響があるものとして 4 月に希望を繋いで居る向が多い。

一面外國からの通信にも正月初旬には日本から莫大な鋼板の引合があつて大陸の鋼板値段を強調にしたなど云ふ珍らしい事實が掲載されて居る處を見ると、之を警戒することも必要ではあるまいか

東 京 市 況

丸 鋼 6mm の大阪伸鐵の脅威未だ去らず相場弱含みを續け、9mm は $\odot$ の積遅れと伸鐵が間に合はざる爲め上伸氣勢を示し、12mm も 9mm と同様出廻り不順調と伸鐵が平鋼方面に主力を注いで居る關係上益々強調、ベースは大阪の高値に大部西路へ流れた爲め定尺が特に品掠れを報ぜられて居るが、其割には値は伸びないのは自重の然らしむる處か一寸不思議の感がある。中丸以上は舶來入荷まで一寸間があるのと僅少の入荷は熱石に水の際に消えた爲め高値を維持し、太丸も不相變 15 圓揃みを唱へられて居る。

角、平 鋼 角、平は全く稀有の高値を持續して居る爲め丸鋼などとの均衡から見て伸鐵が此方面に進出するは當然で、今旬の平は特に其感が深く前旬報じた通り愈々大阪方面から注入されて $\odot$ 分野以前は一寸弱含みと見られ、角も値段は大體動かざるも氣持は弱いと云はれて居る。

型 鋼 出來た出來たの聲の大きいのは中山と厚板である。之が相當市場に響いて中山は前旬から見ると緩和氣味であるが、75 の如きは寧ろ高値唱へとなり、要するに 50、65 などの馬鹿値が追々と平均されて來た、不等山も同様である。面白いのは大型で $\odot$ が引受數量が尠いと聞いて現在あまり不自由はして居らぬが兎に角先高氣構へとなつて底意は強く、等山 130 も消化されて戻り足を見せ溝形は例の亂調子に益々懸絶し工形鋼は保合を續けて居る。

鋼 板 今旬鋼材中の呆りを拾ふと珍らしく中板が其選に當つた誠に珍らしい現象である。米國にも恐慌が來る様に萬年強氣の中板にも時に背いて涼風が立つものと思はれる。然しそれも比較的の問題で居所としては未だ未だ狂相場たるを失はない。16" の 3×6 は近來共販以外の製品の進出相當數量に上るらしく軟調となり 20 圓丁度が出來たと云はれて居る。之に反し 4×8 は特殊需要を期待して強氣を示し、23 は 16" の 4×8、5×10 の品薄の影響にて自重の

態と云はれ、3・2 先月來の戻り賣が利いて押目となり、大阪程はバツとせないと見られ 4・5 は品も相當豊富に小甘い商状となり、9・0 以上は舶來物が長尺物の關係上 5×10 が特に目立つて弱いと云はれて居る。

大 阪 市 況

丸 鋼 各メーカーよりの出廻り極度に不圓滑なるためと問屋の思惑も手傳つて市中は極端なる品掠れを傳へられ、従つてベース物 12 圓といふ未曾有の相場を唱へられるに至つた。昨今の實需より見てまことに行きすぎの觀がある。最近大量の外註も成立したとの事でこれが事實とすれば 5、6 月頃には波瀾を巻き起さぬとも限らぬ。これがため地方の實需筋では一齊に見送りの態度を持してゐる様子である。6mm, 8mm は伸鐵方面よりの格安品の手當ありしたため相場は茲許頭打ちと云はれてゐる。9mm 以上 32mm のものは最近建築方面へ大量引かれたとの事で市中品皆無となり従つて相場は異常に高い。中丸は共販よりの持廻り悪く相場は上伸を迫る一方で殊に 50, 55, 65mm 等は品切れとなり市中相場は 17、18 圓と法外に高い。太丸は賣行弗々あり相場は 14、5 圓見當を唱へられてゐる。

高浪に舵取られけり船艚

角、平 鋼 角鋼は前旬來引續き強調を示してゐる。95mm 以上の中形ものは賣行良好である。100mm 角は從來問屋間では問題にしてゐなかつた品であるが、最近車輛用として殆んど全部消化された事は一寸珍しい現象である。平鋼は相變らず手當薄のため相場は遂に外註を上廻るに至つた。従つて最近外註契約も相當出來た模様である。

型 鋼 小形アングルは既報の如く共販の賣出數量が少いため相場は手堅く保合つてゐる。然しこれは伸鐵より相當の手當あるため目下のところ外註する必要はないやうである。中形アングルは最近積遅れ品も弗々入荷があるが順次消化され従つて相場もガツチリしてゐる。50, 65mm 等は相變らず引張り風の有様で突飛な相場を唱へられてゐるところから外註に走つた向もかなりある様子である。大形アングルは凡調。チャンネル 3×6, 2½×6, 2½×5 及びジョイスト 3×6, 3×4 等は市中極端なる品掠れにてアブノーマルな相場を唱へられてゐる。其他不變。

鋼 板 1、2 中板は引續き共販よりの出廻り不順調なるためと外註品の入荷も案外少きため相場は異常に高い。厚板は最近外註品の入荷も相當あるが賣行も良好なる所から先づ堅調を辿つてゐる。

線 材 外註品の入荷、製品安等の軟材料を織交せて先旬來一擧に 13 圓方暴落を演じた。先行尙弱いと見られてゐる。

鋳 力 板 需要期接近と共に地方筋よりの引合も相當あるが、市中在庫は外註品入荷と共に漸増の態にて氣配は呆りと云はれてゐる。

訂 正 通 知

旬報第 219 號掲載「昭和 7 年 12 月當所品種寸法別生産高」の中工形鋼に 150 耗×75 耗 369 噸とあるは溝形鋼の中に入るべきを以て訂正す、従つて各合計數量も溝形 7,186 噸、工 形 5,997 噸になる。

3 月 中 日 誌

1 日 商工省調査、昭和 7 年中の銑鋼需要額は銑鐵 1,658,000 噸、鋼材 2,124,000 噸と發表さる。

滿洲國建國 1 週年となる。

2 日 衆議員に於ける製鐵合同法案政府委員の説明に依れば 銑鐵

生産費は合同前 38 圓 69 錢合同後 33 圓 80 錢、差引純當 4 圓 89 錢の低下。

3 日 早曉三陸地方に大地震あり、慘害甚大。釜石鎮山は無難。製鐵所の採否照會を積出遅延承認と誤傳し、震災による釜石の出荷を懸念し、且つ軍需旺盛に品掠れを見越して市況一齊に上放る

4 日 午前 10 時 30 分熱河省都承德を占據す。

フランクリン・デラノ・ルーズベルト氏 米國 32 代の大統領に就任す。

米國の金融恐慌 41 州に及び各聯邦準備銀行も一齊休業に決す。5 日 ルーズベルト大統領ステートメントを發表す。其の要旨は 6 日より 9 日迄 4 日間全國銀行一齊休業、休業期間中金輸絕對禁止、同期間中手形交換所證券の發行許可等である。

6 日 共販賣出理事会全部 1 週間延期。我國爲替市場全休。米穀市場の他全國の精算市場も一齊休場。鐵鋼界は比較的冷靜、但し氣迷に商談見送らる。

7 日 綿絲、人絹、砂糖等の清算市場再開。各市場共慘落。露國は國際聯盟日支問題諮問委員會參加を正式に拒絶す。

8 日 爲替市場平穩裡に再開、日米裁定相場は 22 弗見當。午後株式市場開市、突飛な亂調子もなく、新東短期 13 圓 30 錢安の 148 圓と寄附いたが 156 圓 50 錢と戻して大引。

22 億 3,900 萬圓の大豫算貴院を通過し成立す。

本日の東京市中相場は前旬に比して一齊に強調。軟弱なりしは丸の 6mm 溝の 3/8" × 3" × 9", 工形の 7mm × 100mm × 200mm 鋼板の 32mm と 6mm のみ。

9 日 米國大統領銀行休業を延期し金輸出無限禁止を宣言す。米國の金融恐慌に對する我鐵鋼界の不安は一掃され、關東鋼材に 2 萬噸餘の引合殺到したる由。尙同組合の建値はベース物 100 圓其他据置。

11 日 日米裁定相場 23 弗 46 仙。

製鐵合同案衆議院委員會にて付帶決議附きにて可決。

13 日 8 年度政府一般會計は追加豫算共總額 3 億 310 萬圓、公債發行高 10 億 550 萬圓となる。

米國日支問題諮問委員會に參加し、委員會組成國は 22 國と決定す。

13 日より 15 日までの間に全米の銀行を再開せしめる旨大統領聲明す。

本日の小型山形の賣出を初めとして各共販賣出しを開始す、小山は 4、5、6 月渡となり 3、4、5 圓上げと決定。

14 日 5、6 月積製鐵所先物協議會開催、異色は米國の異變を映して入電が磅建となり決定値段が亂調子となつた事。

15 日 ニューヨーク取引所再開、諸株一齊高。

日銀調査、3 月に入つてからの東京小賣物價は前月に比して 1 分 1 厘安低落品 17、騰貴品 5。

17 日 大陸鋼塊カルテルは割宛量及共販機關に關して協議會を開き愈活動に着手した。

18 日 市況は不安人氣解消し概して強調なれども未だ待機の姿と云はる。

21 日 日本製鐵會社設立後も鋼材聯合會は存續、尙ほ又アウトサイダーの生産並に販賣協定は從來通りなりと。

22 日 蔣介石陸海、空軍の總司令となる。

吾嬌製鋼丸鋼機械休轉の報を入れて大阪にては丸鋼 115 圓乃至 120 圓と奔騰す。

23 日 製鋼原料共同購買會は組合の形式に依り 屑鐵共同購買をなす事に決す。

獨逸ナチス獨裁の霸業完成し共和制は成立後滿 14 年にして實質的に解消す。

24 日 貴院に於ける製鐵合同委員會は希望決議を附し 政府原案を可決す。

25 日 第 64 議會終る。

株式一齊安。短期新東は 165 圓 50 錢にて大引。

27 日 聯盟脫退諮問案上奏御裁可を仰ぎドラモンド氏宛打電さる。

30 日 製鐵獎勵金半減 4 月 1 日より實施。即ち(1)銑鋼一貫作業の場合に使用せられる銑鐵に對し従來鈍當り 6 圓を 3 圓とす。

(2) 造船用鋼材に使用をする鐵に對し鈍當り 5 圓を 2 圓 50 錢とす。(3) 鑄物用銑鐵に對し鈍當り 3 圓を 1 圓 40 錢とす。

3 月 中 爲 替 相 場

月	日	區分	對米	對英	月	日	區分	對米	對英
3	1		$\frac{1}{2}-\frac{3}{8}$	20- $\frac{5}{8}$	18		$\frac{1}{2}-\frac{5}{8}$	21- $\frac{1}{4}$	
	2		$\frac{1}{2}-\frac{7}{16}$	20- $\frac{5}{8}$	20		$\frac{1}{2}-\frac{5}{8}$	21- $\frac{1}{4}$	
	3		$\frac{1}{2}-\frac{1}{16}$	20- $\frac{3}{4}$	21		—	—	
	4		$\frac{1}{2}-\frac{1}{16}$	20—	22		$\frac{1}{2}-\frac{13}{16}$	21- $\frac{1}{4}$	
	6		—	—	23		$\frac{1}{2}-\frac{13}{16}$	21- $\frac{1}{4}$	
	7		—	—	24		$\frac{1}{2}-\frac{13}{16}$	21- $\frac{1}{4}$	
	8		$\frac{1}{2}-\frac{3}{8}$	—	25		$\frac{1}{2}-\frac{3}{16}$	21- $\frac{1}{4}$	
	9		$\frac{1}{2}-\frac{3}{8}$	—	27		$\frac{1}{2}-\frac{13}{16}$	21- $\frac{1}{4}$	
	10		$\frac{1}{2}-\frac{3}{8}$	—	28		$\frac{1}{2}-\frac{13}{16}$	21- $\frac{1}{4}$	
	11		$\frac{1}{2}-\frac{3}{8}$	—	29		$\frac{1}{2}-\frac{7}{8}$	21- $\frac{1}{4}$	
	13		$\frac{1}{2}-\frac{3}{8}$	—	30		$\frac{1}{2}-\frac{7}{8}$	21- $\frac{1}{4}$	
	14		$\frac{1}{2}-\frac{3}{8}$	21—					
	15		$\frac{1}{2}-\frac{3}{8}$	21—					
	16		$\frac{1}{2}-\frac{3}{8}$	21- $\frac{1}{4}$					
	17		$\frac{1}{2}-\frac{3}{8}$	21- $\frac{1}{4}$					

東京 大阪 市中 相 場

{東京 3 月 28 日
大阪 3 月 25 日

等 邊 山 形 鋼			鋼 板		
丸	東京	大阪	東京	大阪	
6mm	11:80	11:50	1'6mm×3'×6'	21:50	22:00
9	11:40	12:00	1'6×4×8	22:50	23:00
12	11:80	12:50	3'2×4×8	19:00	10:00
19	11:20	12:00	3'2×5×10	"	"
25	"	"	6'0×4×8	16:30	16:50
50	16:00	17:00	6'0×5×10	"	"
65	17:50	"	9'0×4×8	15:30	15:50
			9'0×5×10	"	"
不 等 邊 山 形 鋼			薄 鋼 板 (13 枚)		
			英 川	72	71
			八 幡	72	71
溝 形 鋼			鋳 力 板		
mm mm mm			米 { 170lbs	29:80	29:80
6×50×50	14:00	14:00	100	17:50	17:50
6×65×65	16:00	15:50	英 { 170	28:50	28:00
9×75×75	14:50	13:50	100	15:70	16:00
5×13'×130	13:00	10:50	八幡 { 170	28:50	28:00
12×130×130	11:70	"	100	15:70	16:00
15×150×150	"	"	線 材		
工 形 鋼			No. 5 #	155:00	160:00
mm mm mm					
5×50×100	15:00	13:00			
6×65×125	25:00	23:00			
3'6×3'×6"	"	24:00			
3'6×3×8	12:00	11:00			
9×90×250	"	11:50			
10×90×300	"	"			
mm mm mm					
5'5×75×150	14:00	13:50			
7×100×2'0	11:50	11:00			
9×150×300	11:00	11:50			
12×150×350	11:50	10:00			
10×125×250	"	11:00			

備考 單位 100kg につき (置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は鈍當り。鋳力板は 1 箱當り。

3 月 下 旬 線 材 薄 板 鋳 力 板 輸 入 速 報

品 名	神 戸	大 阪	横 濱	合 計	備 考
B.W.G.No. 5	197	253	122	572	神戸自 18 日至 28 日
其 他	90	349	38	477	大阪
計	287	602	160	1,049	横濱自 18 日至 27 日
3 月中計	297	628	268	1,193	
薄 板 0.7mm 以下	—	—	—	—	
計	—	—	65	65	
鋳 力 板	284	303	269	859	
3 月中計	964	2,781	2,072	5,817	

昭和8年2月中當所品種寸法別生産高

(單位噸)

(其ノ一)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		30	2	等邊中型山形鋼		球山形鋼		9	857	36	17	6K	1,413
小形丸鋼		32	333	65mm	724	m mm		9.5	4	38	113	8	737
9mm	2,304	計		75	1,301	150×75	69	10	597	40	4	9	750
12	681	中形角鋼		90	1,261	200×75	61	11	148	50	7	12	143
13	44	38mm	19	100	391	8"×3½"	11	12	811	70	5	15	501
14	6	44	13	計		9×3½	83	12.5	1	計		計	
15	1	50	95	3,677		計		13	83	2,438		重軌條	
16	223	55	3	等邊大型山形鋼		型鋼形		14	305	耳付稿中鋼板		30K	4,327
18	173	60	21	150mm	60	鋼板の部		15	87	4.5mm	47	40	4,872
19	309	65	85	200	661	薄鋼板		16	560	計		45	102
20	5	75	183	計		sheets		17	5	耳付稿厚鋼板		50	2,833
21	89	80	4	721		7	169	18	194	6mm	33	計	
22	482	90	63	等邊山形計		8	38	19	169	8	32	附屬品	
23	3	100	531	5,365		10	227	20	247	9	39	12K 用	51
24	89	計		不等邊中型山形鋼		13	1,317	22	250	計		37	631
25	461	角鋼計		m m m m		13	1,317	25	231	硅素鋼板		40	427
26	3	小形平鋼		75×65	124	B.W.G.No.		28	33	0.35	734	計	
27	11	19mm	178	90×60	99	24	144	31	1	0.43	251	軌附計	
28	80	22	218	90×75	898	28	1	32	65	0.5	125	線釘材の部	
30	12	25	441	4"×3½"	229	30	237	34	1	計		線材	
計		32	200	計		中鋼板		36	22	ユニバーサル平鋼		5.5mm	5,960
中型丸鋼		38	71	不等邊大型山形鋼		sheets		62	6	mm		計	
38mm	56	40	2	m m m m		4	3	69	1	6	361	製釘材	
40	28	44	44	25×90	902	5	1	稿中鋼板		8	5	計	
42	5	50	163	150×90	1,397	20	73	3.2mm	1	10	10	鋼線	
44	19	計		計		19	16	5	7	12	8	1.4mm	4
46	10	中形平鋼		不等邊山形計		16	12	稿厚鋼板		14	1	1.5	6
48	24	60mm	83	溝形鋼		15	20	6mm	3	19	94	3	18
50	52	65	25	m m m m		14	17	計		25	157	4	5
55	95	70	25	200×80	429	13	1	耳付中鋼板		鉾力板		線釘計	
60	71	75	150	250×90	66	12	1	4.5mm	109	lbs		其他の部	
65	148	90	160	3"×2½"	451	0.12	4	計		170	783	特殊鋼條鋼	
70	118	95	2	6×3	51	0.8	14	耳付厚鋼板		112	16	電氣爐丸	1
75	242	100	172	7×3½	12	1	36	6mm	398	107	4	電氣爐角	22
80	141	計		計		1.2	16	7	25	100	521	電氣爐特殊	1
85	1	平鋼計		工形鋼		1.4	7	11	17	95	309	電氣爐特塊	24
90	297	スケルブ		m m m m		1.5	54	12	33	其他鋼板		鍛成品	
95	43	112mm	65	125×75	430	1.6	936	13	556	飛行機用	30	其他	
100	150	計		150×75	565	1.8	7	14	312	汽罐用	2	外輪	225
計		大形丸鋼		200×100	1,004	1.85	22	15	114	美電氣爐	299	車軸	139
大形丸鋼		105mm	58	250×125	2,823	2	60	耳付厚鋼板		電氣爐鋼	8	ボール	28
110	62	110	62	300×150	804	2.1	2	6mm	398	不クロム	5	ナット	49
115	56	120	128	400×150	1,336	2.3	163	7	25	ナデュー		輕軌條	
130	128	其他の棒鋼		24"×7½"	413	2.4	5	8	221	鋼板計		輕軌條	
135	42	火床用	49	計		2.5	6	9	333	計		輕軌條	
140	106	引拔磨鋼	28	乙形鋼		2.6	2	10	17	輕軌條		輕軌條	
145	36	計		m m m m		2.9	7	其他鋼板		輕軌條		輕軌條	
150	599	棒鋼計		130×70×60	16	3	385	其他鋼板		輕軌條		輕軌條	
160	74	計		150×75×65	18	3.2	767	其他鋼板		輕軌條		輕軌條	
170	60	型鋼の部		等邊小型山形鋼		3.5	143	其他鋼板		輕軌條		輕軌條	
180	101	20mm	2	20mm	2	4	630	其他鋼板		輕軌條		輕軌條	
190	83	25	14	25	14	4.5	765	其他鋼板		輕軌條		輕軌條	
200	208	30	16	30	16	5	522	其他鋼板		輕軌條		輕軌條	
計		35	57	35	57	5.5	17	其他鋼板		輕軌條		輕軌條	
丸鋼計		40	308	40	308	計		其他鋼板		輕軌條		輕軌條	
小形角鋼		50	570	50	570	丁形鋼		其他鋼板		輕軌條		輕軌條	
16mm	663	計		計		2"×2"	101	厚鋼板		輕軌條		輕軌條	
19	217	計		計		3×3	12	mm		輕軌條		輕軌條	
22	49	計		計		6	806	6.5	8	輕軌條		輕軌條	
25	145	計		計		7	109	7	109	輕軌條		輕軌條	
26	2	計		計		8	814	8	814	輕軌條		輕軌條	
28	87	計		計		計		輕軌條		輕軌條		輕軌條	

昭和8年2月中當所品種寸法別生産高

(單位噸)

(其ノ二)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
ナット	2	銃鐵		鋼塊		鋼片		ジートバー		短尺及屑鋼			
計	443	本所	43,783	普通鋼塊	115,716	外部向	5,496	外部向	9,303	短尺	1,334		
其他計	739	戸畑	8,493	電氣爐塊	1,366	内部向	72,544	内部向	11,937	屑鋼	2,546		
鋼材計	78,350	洞岡	16,354	坩堝鋼塊	18	計	78,040	計	21,245	計	3,880		
		計	68,630	鑄造鋼塊	544								
				計	117,544								

昭和8年1月中棒鋼寸法別揚地別引渡高表

(單位噸)

丸鋼

區分 寸法	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼				合計
	阪神 揚	京濱 揚	其他	計	阪神 揚	京濱 揚	其他	計	
9mm	2,180	1,295	888	4,363	—	—	5	5	4,368
10	6	—	5	11	—	—	—	—	11
11	1	—	—	1	—	—	—	—	1
12	—	—	100	100	—	—	—	—	100
13	5	—	2	7	—	—	—	—	7
14	23	—	—	23	—	—	—	—	23
15	3	—	—	3	—	—	—	—	3
16	—	—	6	6	—	—	—	—	6
18	13	—	—	13	—	—	—	—	13
19	13	—	10	23	—	—	—	—	23
22	19	7	104	130	—	—	6	6	136
24	11	—	—	11	—	—	—	—	11
25	180	6	96	282	—	—	—	—	282
27	—	—	—	—	—	—	4	4	4
28	29	3	14	46	—	—	—	—	46
30	13	—	—	13	—	—	—	—	13
32	27	4	34	65	—	—	—	—	65
34	2	7	5	14	—	—	—	—	14
36	5	—	—	5	—	—	—	—	5
38	37	2	26	65	—	—	6	6	71
40	12	—	1	13	—	—	—	—	13
44	25	4	25	54	2	—	1	3	57
46	6	1	3	10	—	—	—	—	10
50	22	—	19	41	—	—	—	—	41
55	8	5	1	14	—	—	2	2	16
60	—	11	4	15	—	—	—	—	15
65	—	2	41	43	—	—	1	1	44
70	—	—	13	13	—	—	—	—	13
75	—	13	70	83	—	—	3	3	86
80	—	—	3	3	—	—	—	—	3
90	46	46	17	109	4	—	5	9	118
95	—	1	3	4	—	—	—	—	4
100	1	13	221	235	—	—	1	1	236
105	8	13	—	21	—	—	—	—	21
110	23	49	—	72	—	—	—	—	72
115	—	22	—	22	—	—	2	2	24
120	1	4	—	5	—	—	—	—	5
125	3	13	—	16	—	—	—	—	16
130	9	37	—	46	—	—	10	10	46
135	9	2	—	11	—	—	—	—	11
140	—	6	—	6	—	—	—	—	6
145	16	—	—	16	—	—	—	—	16
150	35	14	—	49	—	—	—	—	59
160	—	7	—	7	—	—	—	—	7
180	8	7	—	15	—	—	—	—	15
200	1	7	—	8	—	—	1	1	9
計	2,800	1,601	1,711	6,112	6	—	47	53	6,165

角鋼

區分 寸法	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼				合計
	阪神 揚	京濱 揚	其他	計	阪神 揚	京濱 揚	其他	計	
9mm	—	6	—	6	—	—	—	—	6
12	86	15	6	107	—	—	—	—	107
16	—	—	29	29	—	—	—	—	29
19	—	—	21	21	—	—	—	—	21
20	—	2	—	2	—	—	—	—	2
22	9	14	12	35	—	—	—	—	35
25	6	22	11	39	—	—	—	—	39
30	—	2	—	2	—	—	—	—	2
32	—	5	—	5	—	—	—	—	5
38	11	5	—	16	—	—	2	2	18
44	31	4	—	35	—	—	—	—	35
50	19	8	7	34	—	—	—	—	34
55	1	—	—	1	—	—	—	—	1
60	—	2	—	2	—	—	—	—	2
65	12	5	36	53	—	—	—	—	53
70	1	14	—	15	—	—	—	—	15
75	29	6	13	48	—	—	30	30	78
90	2	—	10	12	—	—	—	—	12
100	4	2	3	9	—	—	—	—	9
115	10	—	—	10	—	—	—	—	10
120	—	7	—	7	—	—	—	—	7
130	6	6	—	12	—	—	—	—	12
140	10	—	—	10	—	—	—	—	10
150	13	4	—	17	—	—	—	—	17
250	—	—	32	32	—	—	—	—	32
300	—	—	52	52	—	—	—	—	52
500	—	—	6	6	—	—	—	—	6
計	250	129	238	617	—	—	32	32	649
平鋼									
16mm	—	2	1	3	—	—	—	—	5
22	20	20	2	42	—	—	—	—	42
25	3	13	—	16	—	—	—	—	16
32	—	2	—	2	—	—	—	—	2
50	—	—	30	30	—	—	—	—	30
60	—	—	7	7	—	—	—	—	7
65	20	17	40	77	—	—	—	—	77
70	—	4	—	4	—	—	—	—	4
75	37	135	68	240	—	—	3	3	243
85	—	9	—	9	—	—	—	—	9
90	40	—	25	65	—	3	—	2	67
95	3	—	20	23	—	—	—	—	23
100	41	—	14	55	—	—	—	—	55
計	164	202	207	573	—	2	3	5	578
總計	3,214	1,932	2,156	7,302	—	2	82	90	7,392

昭和8年3月中發表各種鋼材先物建値表

種 類	區 分	所 屬 別	外 注 値 段			建値 月日	積 月					備 考
			沖 着	爲替	河岸着		4、5 月 積	5月積	5、6 月 積	6、7 月 積		
丸 鋼	9mm	關 東 鋼 材	—	—	—	月日	—	—	—	—		
"	50mm-100mm	"	—	—	—	—	—	—	—	—		
角 鋼	ベ ー ス	製 鐵 所	£4-4-6	1/2-1/4	97.17	3.14	—	—	95.00	—	2 圓上げ	
平 鋼	製鐵所分野	"	"	"	"	"	—	—	95.00	—	"	
大型山形	"	"	4-2-0	"	95.05	"	—	—	94.00	—	1 圓上げ	
工 形 鋼	"	"	4-0-6	"	93.84	"	—	—	90.00	—	3 圓上げ	
溝 鋼	時 寸 法	"	4-14-0	"	105.03	"	—	—	104.00	—	1 圓上げ	
"	耗 寸 法	"	4-0-0	"	93.43	"	—	—	90.00	—	据 置	
中型山形	等 不 等	中 型 山 形 共 販	4-2-0	1/2-1/2	93.92	3.15	—	—	95.00	—	"	
"	"	"	"	"	"	"	—	—	96.00	—	"	
小型山形	3mm×20mm	小 型 山 形 共 販	5-0-0	1/2-3/8	109.20	3.13	110.00	—	—	—	小形山型積月は 4、5、6月	
"	3×25-5mm×30mm	"	4-16-0	"	106.00	"	105.00	—	—	—	5 圓上げ	
"	"	"	4-14-6	"	104.77	"	—	—	—	—	4 圓上げ	
"	5×40mm-6×45mm	"	4-7-6	"	99.01	"	100.00	—	—	—	3 圓上げ	
厚 板	耳 付 尺	厚 板 共 販	4-6-0	"	97.78	"	—	—	—	—	2 圓上げ	
"	定 尺	"	5-12-6	1/2-1/2	116.83	3.24	—	—	107.00	—	厚さ 6mm のエキストラは	
"	"	"	"	"	"	"	—	—	115.00	—	3 圓厚板は	
中 板	1.6mm	中 板 共 販	6-9-0	1/2-1/4	140.89	3.15	—	—	133.00	—	3 圓上げ	
"	2.3mm	"	6-2-0	"	135.08	"	—	—	128.00	—	"	
"	3.2mm	"	5-17-0	"	124.10	"	—	—	115.00	—	"	
"	4.5mm	"	5-11-6	"	119.54	"	—	—	108.00	—	"	
黑 板	13枚物 内地向	黑板共販薄物部	12-5-0	1/8-0	224.75	3.26	210.00	—	—	—	据 置	
"	6呎 "	"	12-0-0	"	238.70	—	"	—	—	—	浪原格差撤廢	
"	7呎 "	"	"	"	"	—	"	—	—	—	"	
"	8呎 "	"	"	"	"	—	"	—	—	—	"	
"	13枚物 輸出向	"	12-5-0	"	184.12	—	170.00	—	—	—	12 圓下げ	
"	6呎 "	"	"	"	"	—	"	—	—	—	"	
"	7呎 "	"	12-0-0	"	195.20	—	"	—	—	—	浪原格差撤廢	
"	8呎 "	"	"	"	"	—	"	—	—	—	"	
"	12枚物	黑板共販厚物部	10-10-0	"	211.00	—	201.00	—	—	—	"	
"	11 "	"	10-2-6	"	205.03	—	199.00	—	—	—	"	
"	10 "	"	9-15-0	"	199.04	—	197.00	—	—	—	据 置	
"	9 "	"	9-5-0	"	191.06	—	195.00	—	—	—	"	
"	8 "	"	8-19-0	"	186.28	—	192.00	—	—	—	輸出向は内地向の	
"	7 "	"	8-13-0	"	181.50	—	190.00	—	—	—	"	
"	6 "	"	8-2-6	"	173.12	—	185.00	—	—	—	25 圓下げ	
"	5 "	"	8-0-0	"	158.49	—	182.00	—	—	—	"	
"	4 "	"	7-13-3	"	153.11	—	180.00	—	—	—	"	
"	3 "	"	7-9-0	"	149.72	—	175.00	—	—	—	"	
鉄 力 板	170lbs	製 鐵 所	1-13-5	1/2-3/8	29.15	3.16	28.30	—	—	—	50 錢上げ	
"	100	"	0-17-6	"	15.35	"	15.00	—	—	—	据 置	
硅素鋼板	B-級 函入	"	20-18-9	1/8-0	341.73	3.18	—	505	—	—	"	
"	C-級 "	"	—	—	—	—	—	325	—	—	"	
"	D-級 "	"	—	—	—	—	—	345	—	—	"	
"	T-級 "	"	27-7-9	1/8-0	444.63	3.18	—	420	—	—	"	
美裝鋼板	18番以下鷲印	"	—	—	—	3.17	—	—	1 圓上	—	美裝鋼板は建値發表せず	
"	" 鳩印	"	—	—	—	"	—	—	"	—	"	
"	1.6mm以上鷲印	"	—	—	—	"	—	—	3 圓上	—	"	
"	" 鳩印	"	—	—	—	"	—	—	—	—	"	
縞 鋼 板	"	"	—	—	—	3.24	—	—	114.50	—	2 圓上げ	
スコップ用鋼板	"	"	\$ 26.20	21 1/4	155.53	3.22	170.00	—	—	—	10圓上げ	
重軌條	繼目板 共満上向	"	25.75	20 3/8	146.00	3.25	145.00	—	—	—	次回三軌會迄145圓5圓上げ	
輕軌條	十哩 未以內向	"	—	—	—	2.6	—	—	—	—	次回六軌會迄 100圓	
"	十哩 未以內向	"	—	—	—	"	—	—	—	—	103圓	
線 材	内 輪 出 向	線 材 共 販	7-10-0	1/2-3/8	143.84	3.23	—	—	135.00	—	5 圓上げ	
"	"	"	"	"	122.17	"	—	—	115.00	—	据置	
シートパイリング	"	製 鐵 所	—	—	—	2.8	—	—	—	—	次回會議迄 155圓	

販 賣 旬 報 第 227 號 昭 和 8 年 4 月 22 日

製 鐵 所 販 賣 部

朝 鮮 と 臺 灣

暫く童心に立歸り改めて日本地理を學ぶこととする。

	人 口	人口の%	面 積	面積の%
本 州			230千方料	
北 海			89 "	
九 州			45 "	
樺 太			19 "	
計	約 6,500萬人	72%	36 "	62%
朝 鮮	約 2,100萬人	23%	221 "	33%
臺 灣	約 430萬人	5%	36 "	5%
計	約 9,100萬人	100%	約 700 "	100%

「3,000 餘萬兄弟共に……」と鼻汁を袖で横撫でしながら高らかにこそ唱つたのは僅か 30 年の昔であつたが、今日では人口は正に 3 倍に膨脹した。

疊 2 枚が 1 坪だと云へば、ハハーンあの位かとすぐ頭に入るが今も 1 アールとは如何程かと人に聞いたら、それは 3 尺さと云ふから冗談ぢやない面積だと云ふたら、そうか僕はまたヤールの發音間違ひかと思つたと云ふ返事をした、ことほど左様に縁違い、此處にある「方料」と云ふ奴も年寄りの頭にはどうもピンと來ないが、面積も殆んど 2 倍近くに増加した。モロツコヤギリヤーク人より外住んで居ないと思つたサガレンも何時の間にやら樺太と變り「鷄の林に風立ちて……」と云はれて「鷄の林」とは何のことか分らないで困つた朝鮮も合併した、まして如何に秦の始皇帝でも蓬萊島から不老不死どころかあまり甘くない二度作の蓬萊米を産して我々を苦しめようとは恐らく想像しなかつたであらう。

興太は扱てをきそろそろ本職に入る。

鐵鋼に關しては樺太は植民地扱ひとしないので之を本土に包含する。假に鐵鋼の需要が人口 1 と面積 1 の平均に比例すると假定して其平均を計算すると、

	人 口	面 積	平 均
本 州	72%	62%	67%
土 庫	23	33	28
朝 鮮	5	5	5
計	100	100	100

と云ふ具合になる。

過去 5 ケ年の本土の需要を製鐵業參考資料から拾つて見ると、

昭和 3 年	2,363,282 吨	6 年	1,634,911 吨
4 年	2,620,167	7 年	11,000,000(?)
5 年	2,120,450	平 均	2,147,763

(昭和 7 年は末調査に付き推定とす)

と云ふことになるが、此のラウンド、ナンバーを採つて内地の需要を 200 萬吨と押さえて前述の率に當て嵌めると、

内 地	朝 鮮	臺 灣
200 萬吨	83 萬吨	15 萬吨

と云ふ數量になる筈であるが、別表を参照すれば

朝 鮮	臺 灣
113,269 吨	67,062 吨

で、計算した豫定數量と對比すると朝鮮は僅かに 14%、臺灣とても 45%に満たぬ數量である。此差額こそ、その所謂文化の程度とでも云へるのではあるまいか。然し此現象は一面にはまだまだ開拓の餘地ある證左として將來の楽しみと云ふべきであらう。

別表は貿易月表から集めた數字であるが、朝鮮と臺灣では區分の仕方が違ふので思ふ様な區分が出来ないのは遺憾であるが大勢の觀察は碍げないと思ふ。先づ兩植民地を合した數量から見ると、其需要は約 20 萬吨と云ふことが出来る。即ち内地需要の約 1 割であ

る。其内で内地からの移入が 95% を占め輸入は寔に僅少である内地の生産と輸入を比較して見ると輸入が現在でも少くも 10% 以上に出て居るのよりは成績はよい、それは兩植民地に大きな輸入商が無いと云ふのも主要な原因と思はれる。

年次別で云ふと内地各品種中で最も勢力のあるのは「條及竿」で全體の約 3 分 1 に近い消費力を持つて居る。之に次では軌條で之は新開地として當然であらう。鋼板も相當の力を持つて居るが之には鍍板も含有され、此表には現はれて居らぬが朝鮮への實蹟から見ると「金屬を鍍せざるもの」と鍍板の數量は概ね半々と云ふ處である。

線は内地と異つて兩地には製線工場が無いから大部分が所謂「針金」としての輪移入である。

釘類も内地の線材と結び付けて考ふべきもので、此線と釘の合計が内地の線材が伸び得る地盤である。

「家屋橋梁……」と云ふ最後のものは内地で加工したもので、實は 1 番上の條竿中に含有すべきものであるから條竿の數量は益々増加する。

朝鮮と臺灣と比較して見よう。

合計を検討すると朝鮮と臺灣の比は 3 對 2 である。面積人口に比すると甚だしく朝鮮が劣るのは蓋し已むを得ぬであらう、然し絶對數としては兎に角朝鮮の需要も 10 萬吨を超えるのであるから相當注目に値するのではあるまいか、然るに朝鮮は一般から甚しく冷眼視され大連には進和商會、同志會など問屋の團體さへあるべき地として今より着眼して置く必要が有る様に感ぜられる。

輪移入數量を比較すると輸入數量は臺灣が多いが、之は鉄力關係でこうなつたので他の品種では輸入は大した勢力は無い。

條鋼類では大して語るべきものではないが、レールが植民地だけあつてかなりの消費量を持つて居る。

面白いのは鉄力であれだけの面積でありながら朝鮮が平均してタツタ 800 吨足らずの數量であるのに反し、臺灣が 5,000 吨と云ふ大量を消化して居るのはアルコールや砂糖やパインアップルが此數字となつて現はれるのである。

又此輪移入を眺めると臺灣の輸入が特に多量であるのは如何なる理由であらうか一考を要する問題である。板の内には斷つてある通り鍍金板が半分位含有されて居るとして見ると鍍金板は兩所合して 1 萬 5,000 吨位は消費すると見るべきで外國品が侵入し得ないのは又當然である。

線に於て朝鮮の 6,000 吨に對し臺灣が 7,000 吨 以上の需要のあるのは河川の數と其の改修等の力の入れ方の相異と見るべきではあるまいか。

鋼管が内地の比例より多く使はれるのも新開地として然かるべきで、將來も注目すべき一項目と思はれる。

釘は線と異つて臺灣が少いのは人口の比例によつたものであらう之を綜合して見る時は朝鮮が種々の施設及天恵に浴することが少い爲めレール、鉄力等が臺灣より比較的劣勢を示したものと思はれる。

我鐵鋼界は寔に近年稀な好調が半歳餘も續いて、メーカーもセーラーも聊か宇頂天となつた形で、メーカーは總てに増産を畫しセーラーは輸入に狂奔して居るが此反動は必ずや近き將來に出現するものと覺悟せなければならぬ。其際に於て調節機關として是非是等植民地の開拓を必要とするのであるから其意味からも今より充分研究してをく必要があらう。

5、6月積鉄力板賣出協議會—据置

月日場所 4月14日 製鐵所東京出張所

出席者 製鐵四社及東西問屋

議事 5、6月積鉄力板賣出に關する件

1、値段 外注 Cif は 100 封度は前月と同様なるも 170 封度は甚だしき下放れを演じ、各關係が加味されて特に 170 封度の如きは前月建値を下廻る如き状態となつた。一方市場は近來逐次軟調を辿る傾向にあるも、東京側の意見としては此際値下げする如きは益々市場を悪化せしむる素因となるを以て 100 封度は勿論なるも、170 封度も据置きとせられたしと云ふに對し、大阪方面には外注を参照して 170 封度を 50 錢程度値下げされたしと云ふ如く東西意見の一致を見ざるも、製鐵所側に於て適宜善處されたしと云ふ買手の提案があつた。

製鐵所としては外注追従の主義より云へば當然値下げすべきも買手側の一部よりも希望あり、今 1 ヶ月間模様を見て處置する爲め今回は特に据置きすべしと云ふことに決定した。

100 封度 15 圓(据置) 170 封度 28 圓 20 錢(〃)

2、數量 他鋼材と同様昨今まで品不足を啣たれて居た鉄力も一夜明けて世界が變ると、外注品や W.W、需要不振など急に眼に付き出して、あれほどの買氣も一頓挫を來した然し未だ今迄の賣出數量を消化し得ぬ程ではないが兎に角製鐵所として餘り積遅れの無い様な數量を賣出されたしと云ふ希望があつたので、前月同様 600 噸として其他の條件も變らず。

Tin Plates May/June Shipment

	100lbs.	170lbs.
Cif. Yokohama	£ 0-17-6	£ 1-12-5
Ex. @ 1/2-3/8	¥ 14.18	¥ 26.26
Interest (1 3/4%)	0.18	0.34
Duty	0.72	1.22
Charges	.08	0.15
	¥ 15.16	¥ 27.97

6、7月積賣出美板會—値上げ

月日場所 4月8日 八幡市製鐵所

出席者 三井高島屋及製鐵

議事 6、7月積美裝鋼板賣出に關する件

1、値段 4月4日より大陸鋼材組合の構成氣構へにより大陸の形勢一變して俄然硬化したる爲め、美裝鋼板の參考値段とすべき中板及黒鉄の情勢も著しく變化し、所謂目標値段より判斷すれば可なり値上げの必要あるも、枚物は中板の今月に於ける建値の豫想を加味し、枚物は黒鉄の市場の趨勢を参照して漸進主義に則り耗物 3 圓枚物 5 圓の値上げに止めた。

2、數量 先月は特例として 50 噸餘分に受注したが今日は常態に歸つて 400 噸の引受と決定した。其他の條件は前月通り。

3、締切 4月15日

6月積賣出三S會—再び据置

月日場所 4月10日 八幡市製鐵所

出席者 三井、三菱、高島屋、芝浦、日立及製鐵

議事 6月積珪素鋼板賣出に關する件

1、値段 賣手としては外注 cost は變らざるも爲替關係により若干値上りとなりて、之との値軸相當あるを以て値上げを主張したるに對し賣手は外注も殆んど變らずして大勢を動かす程の力なきのみならず、川崎等の進出もあるを以て今回は特に据置きとすることを要請し、結局買手希望通り次記の通り据置きと決定した。

次記 (イ) 電動機用珪素鋼板 B 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 305 圓(据置)

裸バンド締のもの 〃 金 295 圓(〃)

(ロ) 電動機用珪素鋼板 C 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 325 圓(据置)

(ハ) 電動機用珪素鋼板 D 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 345 圓(据置)

(ニ) 變壓器用珪素鋼板 T 1 級

函入のもの 1 噸に付 金 420 圓(据置)

(ホ) 2 級品 2 割以内混入差支なし

2 級品の賣價は各々 1 級品賣價の金 30 圓引のこと

(ヘ) 珪素鋼板厚物は T 級品は金 10 圓引其他のものは各種共金 5 圓引のこと

2、數量 黑板は極度の需要不振にて今月の申込み 300 噸などと云ふ際なれば、其能力を珪素鋼板に廻して數量増加せられたしとの買手側の希望ありたるも、成る程其の一理由たるは失はざるも珪素鋼板の工場能力が之に添はざる故之を加味して 前月より 200 噸増加して 1,200 噸の賣出しとした。

3、締切 4月15日

三日會—180 圓

月日場所 4月14日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、三菱、良鋼社、日立及製鐵所

議事 エレベーター用ガイド、レール賣出に關する件

賣出値段 初めての建値にて先づ何を基準とすべきやに就き協議したるも、結局他鋼材同様外注値段を標準とすることには一致したるも買手としては現品を一應見たる上と云ふ相當理由ある提案もありたるが、一方賣手も、特別に困難ならざるものに値段も決定せずして製作せしむるも、聊か矛盾する感もあるを以て兎に角外注を参照し特に新市場に進出する最初の賣出なる故其點特に考慮を加へて見本と云ふ意味より次記の通り決定し、直ちに實施することとした

次記 1 般賣値段 16 呎定尺(短尺 1 割込) 1 噸に付 180 圓

ELEVATOR RAIL

(German) (Cif. Yokohama) (U.S.A.) (Cif. Yokohama)

\$ 42.00

\$ 45.00

Rate \$ 21 3/4 ¥ 197.64

Rate \$ 21 3/4 ¥ 211.76

Interest 1% 1.97

2.11

Duty 21.72

21.72

Landing Charge 0.80

0.80

1 Gross ton ¥ 222.13

¥ 236.39

1 Kilo ton ¥ 218.62

¥ 232.65

備考 上記値段は 9 尺迄の短尺もの混入(10%)の場合とす

定尺のみ指定の場合 50cents(1 Kilo ton ¥ 2.37)

6、7月積 9 耗及中丸賣出打合會—9 耗 2 圓上げ、中丸 3 圓上げ

月日場所 4月13日 製鐵所東京出張所

出席者 關東鋼材、製鐵及東西定期團

議事

1、値段 買手の希望は例により理由は兎に角据置と出たが、之に對し賣手としては別項の通り外注が上放れを報じてベース物にて最低採算 104 圓近くを報ずるを以て兩者共 3 圓上げを主張したるに對し、買手は中丸に對しては外注の手當も相當出來て將來大して期待を繋ぎざるを以て買氣も無き故賣手要請通り 3 圓上げにて可なるも、9 耗だけは是非 2 圓上げに止められたしとの提案あり結局買手の此案に賛成し關東鋼材へ意見を述べることとした。

猶製鐵所より中丸に就ては現行 13 呎が定尺なるも、今後 12 呎乃至 17 呎の呎止めとしたるものを 1 割混入差支なきことに取計らはれたしと云ふ希望に對し買手側は發成品の關係もある故承諾し難しとの事であつた。數量は前月通り 4,000 吨と云ふこととした。

ペース丸鋼外注参考値段

£ 4-17-0 @ ½-¾ 河岸着 per K.T. 103.81

5、6 月積スコップ用鋼板賣出協議會一据 置

月日場所 4 月 18 日 大阪中央電気俱樂部

出席者 三井、岩井及製鐵

議 事 5、6 月積スコップ用鋼板賣出に關する件

1、値 段 ショベル、シートの外注は別項の通り前月に比し cost に於て 30cent の値上りを示し河岸着換算 1 圓餘の値上りとなり、内地の状態は他鋼材と異り直ちに實需家に向けらるゝを以て大なる變化なく前月の値段も相當高値にあると共に、値下げは製品に影響を及ぼす故今月は据置を希望すと云ふ買手の希望が出て、當所も其趣旨に賛成し次記の通り据置きと決定した。

記 スコップ用鋼板 170 圓(据置)

1、數 量 賣出増加の切實なる希望が買手側から出たが、能力關係等より大體前月通り 250 吨見當を賣出すことに決定した。

Shovel Sheet Quotation

Shovel Sheets	1'5×4'×8'
Cif.	G. \$ 2.50 per long-ton.
Exchange	@ 21¼
Cif Yen	124.82
Import duty	32.01
Draft Interest 1½%	1.87
Delivery charges	1.50
	¥ 160.29
Say	¥ 157.72 per kilo-ton.

4、5 月積中板の申込と引受

4、5 月積中板の申込と引受は數字の蒐集が遅れたので發表が 5、6 月積より後となつた。

5、6 月積中板の申込及引受高

	東京	大阪	名古屋	其他	計
申込					
1.6mm	1,930	(762.5)	200	(10)	2,902.5
2.3mm	600	(182.5)	77	—	859.5
3.2mm	1,495	(512.5)	270	(15)	2,292.5
4.5mm	790	(242.5)	133	(10)	1,175.5
計	4,815	(1,700)	680	(35)	7,230
引受					
1.6mm	410	762.5	85	10	1,267.5
2.3mm	160	182.5	35	—	377.5
3.2mm	130	512.5	80	15	737.5
4.5mm	100	242.5	40	10	392.5
計	800	1,700	240	35	2,775

6、7 月積中型山形共販賣出理事會—3 圓上げ

月日場所 4 月 12 日 製鐵所東京出張所

出席者 鋼管、東海、製鐵 4 社及東西定期團

議 事 6、7 月積中型山形鋼賣出に關する件

1、値 段 大陸の鋼材販賣組合の結成により俄然硬化した。未だクォーテーションの發表は無いが大體前月に比し 9 志程度の値上りを示し、別表の如く換算して 100 圓丁度となり、前月の 95 圓との間に 5 圓の値開きあるも、前月は市場が好調にありたる際なるを以て特に外注を上廻りたるが元來定期としては外注との間に 4、5 圓の鞘を置きたく又市中としても昨今外注品も弗々入荷し、3 月中にて 800 吨位市場に現はれて壓迫を加へ、猶需要極度に不振を嘆ち値段も押目を迫り居るを以て是非据置と願度しと云ふ買手希望があつた。

賣手としては海外の奔騰と市中の現在の状態より當然相當値上げすべき筈なるも外注値段も未だノミナルとの事にて之を検討する意味も加へて穩健に 3 圓上げに止むべしとの意見に一致を見次の通り決定した。

等 邊 98 圓(3 圓上げ) 不等邊 99 圓(〃)

2、定期繼續に關する件 繼續そのものに就ては買手側より希望もあり、共販としても之に同意する細部の點に關し種々協議すべき事項もあるを以て改めて理事會に於て決定の上協議することとした。

3、締 切 4 月 19 日

Quotation for Chugata-Angle

(6、7 月 積)

Tokio. 12th April 1933.

June/July (本日入電)

Cif.	£ 4-11-0
Ex. ½-¾(Aug.)	¥ 74.03
Duty	25.06
Charges	2.50

Per long ton	¥ 101.59
Per kilo ton	¥ 99.99

決 定 値 段

Equal	¥ 98.00
Unequal	99.00

6、7 月積中板共販賣出理事會—1 中板 5 圓 2 中板 7 圓 上げ

月日場所 4 月 16 日 製鐵所東京出張所

出席者 東海、製鐵及 4 社

議 事 6、7 月積中板賣出に關する件

1、値 段 外注は今回は弗建となりたる爲め cost の前回との比較は不明なるも、大體に於て 5、8 圓の値上りを見た。此際外注品等種々の交錯したる事情により外注一杯まで値上げするも一案ならんも、繼て今回の歐洲の値上りを探究すれば其原因がカルテルの結成が主要なることは勿論なれども、諸種の通報によれば日本よりの引合が硬化の素因となりたることを讀み得るを以て、果して然らば其注文が途絶えたる場合を考ふれば一氣の値上げも不安を感じるを以て、全部 5 圓上げとせられたしと云ふ買手希望に對し、賣手は其趣旨には賛成なるも 3.2、4.5 は厚板の關係及外注との値開きより考察して 7 圓上げを主張し結局次の通り決定した。

1.6 耗 2.3 耗 3.2 耗 4.5 耗
138圓(5圓上げ) 133圓(〃) 122圓(7圓上げ) 115圓(〃)

2、數 量 前月は 2,850 吨なりしも、今月は共販にても努力して若干増加し 3,100 吨の賣出しと決定した。

3、締 切 4 月 21 日

Chuita June/July Shipment

13th April, 1933

1.6mm	\$ 23.75	¥ 143.97
2.3"	22.65	138.88
3.2"	22.00	129.03
4.5	£ 5-17-6	121.21
	Ex. rate ½-¾	\$ 21¼

6、7 月積厚板共販賣出理事會—据 置

月日場所 4 月 18 日 大阪中央電気俱樂部

出席者 川崎、淺野、東海、製鐵及 4 社

議 事 6、7 月積厚板賣出に關する件

1、値 段 海外は鐵鋼カルテルの組成も未だ確然たらず、然も成立を傳へられたる當時の強調も引合一段落に依り稍緩和氣味とな

り、内地市場も外注入荷の氣構えと極度の賣行不振により漸落を告げ居る際なれば値段は据置きとし數量は成る可く多く出されたと云ふ買手側希望があつた。

次で理事會に入り買手の希望にある通り、海外の状態も値上げする程の材料ともならず内地市場も聊か變態と觀察せらるゝを以て大勢に順應して据置きの次記に決定した。

次記 耳付 107圓(据置) 定尺 115圓(〃)

6 耗エキストラ 3 圓

2、數量 共販の販賣し得る數量は不相變窮屈にて到底市場の需要を満し得ることと思ふも、大體前月通り 3,500 吨程度を賣出すこととした。

3、締切 22 日締切 24 日發表

ATSUITA QUOTATION

OSAKA, 18th April, 1933.

Plate basis

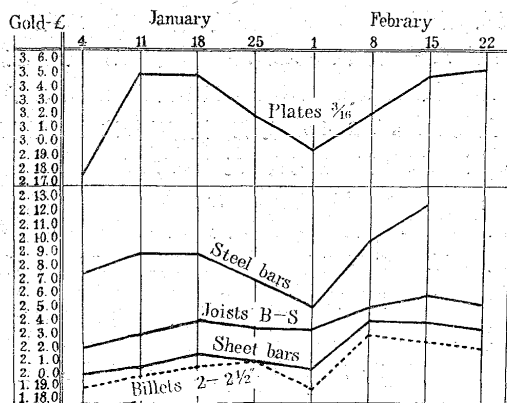
Ex. @ 21 1/4	@ \$ 20.10 per long-ton.
Duty	@ ¥ 94.58
Charges	25.06
	2.50
	@ ¥ 122.14 per long-ton.
	@ ¥ 120.21 per kilo-ton.

6、7 月積線材共販賣出理事會—延期

線材は 3 月に於て限月を 1 ケ月延長したるも、今月は四圍の状況甚だしく變化しあれほど不足を訴へられたるものが急變して賣行不振と相俟ち棒下げを演じ居る際とて、限月を舊に復して翌月渡とする爲めと、市場の成行を注視する意味より 21 日大阪で開かれる豫定であつた、6、7 月積線材の賣出理事會は來月中旬迄延期することに 18 日に於て決定した。

1、2 月中大陸市況

1. 2 月中ブラッセル取引所主要鋼材相場表



上はブラッセル取引所に於ける主要鋼材 1、2 月中の相場の動向を示した圖表である。

此の圖を見るに先年 12 月末より本年 1 月初頭にかけて閑散不味、甚しい安値に沈淪してゐた大陸市況は、1 月 4 日以後 1 月半に至る迄は俄然好轉相場は上向いてゐる。是れは本年に入つてから國際鋼塊組合成立好望の報に氣配が明るくなつてゐた處へブラッセル及ルクセンブルグ市場へ日本より先づ第一に鋼板の驚異的大量と續いて半製品の注文が殺到した爲め前記品種は勿論の事他鋼材も引摺られて一般に堅調となつたものと見られてゐる。

鋼板の注文は 1 月上旬に於て最も旺盛を極め中旬に至つて下火と

なつたが代つて、半製品の注文が 1 萬吨乃至 2 萬吨も押し寄せたのみならず、英國も亦シートバーに對して相當の引合を寄せ、尙復佛蘭西筋の競争も終息したので此の騰勢誘發の最大原因である日本向輸出商談の減退した中旬までも強調を保つものと云はれてゐる。

中旬以後は日本及英國よりの半製品に對する引合が有つたとは云へ其の量も多からず期節的にも荷動きの鈍い時なので、18 日以後 2 月 1 日まで市場閑散、商談減少に相場は反落したが、2 月 3 日大陸鋼塊組合割當量に對する妥協成立の報を入れて市況は復々急騰し 2 月 8 日は前週に比して棒鋼 5 志以上其の他の鋼材は 3 志以上の値上りを示した。

此の騰勢は 15 日頃まで持續されたが下旬に至つて、國際鋼材組合結成の運びに至る迄は尙ほ幾多の破滅的難關に遭遇するであらうとの見解を抱く向が現れるに至つたのと現實取引の僅少とに因つて形勢は三轉再び軟調に變ずる事となつた。

とは云へ國際鋼材組合の前途が悉く悲感されてゐるのではなく、前記の懸念は買手の過敏が難點を誇大視して居る觀ありと云はれ、メーカーはむしろ成立の可能性を説いてゐるし、且つ又春期需要の擡頭も迫つたので或は近く清風霽月市況の正常なる好轉を見るのではあるまいかと云はれてゐる。

斯くの如く本年 1、2 月の大陸市況は多くの特殊事情に依つて常態ならざる進展を示して居るが、概觀すれば國際鋼塊組合の再建及國際鋼材組合への期待を中心として動き日本よりの注文に因つて色探られてゐると云ふ事が出来るのではあるまいか。

ブラッセル齋藤囑託通信

4 月 17 日 入電 値段上向いて市場堅調となる。

棒 鋼	大型山形	中小型山形	工形(BS)
2-12-6	2-10-0	2-12-0	2-9-0
鋼 板	シートバー	ビレット	
(3/16")	(assorted)	(4")	
3-12-6	2-3-6	2-2-0	

3 月 24 日 發信 今週の市況は閑靜を極め只東洋向鋼板の取引多少ありたる位に御座候從て相場も殆んど變りなく幾分軟調を傳へ氣配は 6 片乃至 1 志安を唱へ居候。

	Export	Inland
Bars (base)	£ 2-6-6	frs. 470.00
Angles (")	2-6-0	470.00
" (med/Small)	2-8-6	—
Joist N.S.	2-2-0	—
" R.S.	2-4-0	465.00
Hoops (base)	3-10-0	675.00
Wire rod	4-10-0	—
Blooms 4"	2-1-0	350.00
Billettes "	2-2-0	370.00
Sheetbars	2-2-6	380.00
Plates 3/16" or 5mm	3-7-6	600.00

東西市況—反落

鐵鋼も 1 種の有機體である。昨年迄の不況時に於ける中板が獨り好調を持續して不死身の感を呈したのは寧ろ例外に屬するもので大體各品種共環の如く關連して先月に於ける薄板の没落は當然板物に響き中板を軟化し延いては厚板まで延び、線材の不況は丸鋼を不安にし、丸鋼の不安は角、平を脅かすと云ふのが自然で、今回の如きは其に拍車を懸けるのに「不詳」の舶來がある。

現在の市場では一頃あれほど出る出ると云はれた見積もパタリと跡を絶ち、時たま出れば見送られ、豫期した地方官廳の需要も未だ一向姿を見せず、舶來は入船毎に満船の様な噂で一般に反落氣味と見られて居る。尤も今迄の値段の居處が法外に高過ぎて、もう少し下値が穩當だと云ふ觀念が出初めたのも此勢を助長して居ると見られ

て居る。

東 京 市 況

丸 鋼 「伸鐵」の聲益々喧し。6mm の如き大阪 102 圓の賣物ありの噂さへ流布されて下放れとなり、9mm も順調な入荷と賣れ足鈍い爲軟調、12mm も伸鐵の脅威を痛切に感ずる様になり、ベースは關東鋼材が 2 圓上げたのに追従して、丸鋼組合も 2 圓上げの 10 圓 50 錢としたのに逆行して市場はデリ食となり、中丸以上は西路の舶來が東京へ影響し其上⑤品の入荷を見て反落急を告げて居る。

角、平 鋼 丸鋼のお伴たる角、平は丸鋼の軟化に連れて厭氣がさし、相當の賣行を見ながらも一向不湧。只平の 6×75 や 9×75 が未だ品薄に高値を持続して居るのが寧ろ例外である。

型 鋼 小型山形は伸鐵の進出が甚だしく邪魔になつて大凡 13 圓見當まで下押し、中山も數へれば外注懸念、需要不振、積出順調などあるが、それよりも只何となくと云ふ理由で一路軟調に轉じ、大型物もそれ自體としては大した過重な在庫でもないが、環境が環境故デリ食たるを免れずと見られ、其内で溝形には未だ切れ寸法があつて相當活氣を帯びて居る。

鋼 板 16 は行き亘り過ぎて筋違ひの思惑買の投物が弗々現れるとそれが成行となる程度の軟化振り、23 も 4×8 は脅かされたが 3×6, 5×10 は餘喘を保つて居る、32 は出ることは出るが其れよりも緩和劑たる舶來の聲の方が強く、45 も同様、60 は特に外注多しと睨まれて力無く、8mm 以上は近來シャー方面の噂は一途絶えたが、代りまして市場から安物が飛び出し 17 日頃は 12 圓 50 錢位の賣物があつたときへ云はれて居る。

大 阪 市 況

丸 鋼 春爛漫——櫻滿開、菜種もさかり、日ごと夜ごとに綠増す若葉、ほころびそめたつじ——世はこぞつて春氣分に酔ふてゐる。こうした春が誘惑したのか或は昨今の商賣が閑散なので心のうさを拂ふためかは知らぬが、我大阪の鐵屋さんは昨 16 日打揃つて氣狂踊で有名なあの阿波の徳島へヒクニックを試みたとの事で、その疲れが出たせいでもあるまいが本日の市場は何等活氣がないようである。實際昨今は需要期であるが 2 流間屋筋の投物のため市中相場は下押し氣構へとなり地方筋の買控へと相俟つて氣配はこのごろの天候のやうに呆りと云はれてゐる。

6mm, 8mm は伸鐵方面よりどしどし注入あるため目下の唱へは 11 圓 50 錢なるも實際は 11 圓揃みと云はれ全くベース物を下廻つてゐる。9mm は當所竝に伸鐵方面よりの荷廻り順調なるため相場は茲許伸憐みの態と云はれてゐる。12mm はエキストラ付であるので相場も比較的高く、賣行も相當ある模様である。中丸は當所品は相變らず品薄を傳へられてゐるが、最近外註品の大量入荷のため 3、4 圓方の大暴落を演じた様子である。太丸は舶來品の入荷も弗々あるが順次消化されてゐるので相場も 14 圓カツチリを唱へられてゐる。

迎 り つ き 雨 夜 と な り ぬ 山 櫻

角、平 鋼 角鋼は伸鐵方面よりの手當なく當所品の獨占舞臺の觀あり従つて相場は割合手堅い。32, 65, 75mm 等は極端なる品掠れにて相場は高い。50, 90, 100mm 等は 12 圓見當を唱へられ先づ可もなく不可もなし。平鋼 75 は需給のバランス取れざるため遂に原價を割るに至つた。75mm 以上のものは當所よりの出廻り不順調に加へて伸鐵方面も製作出來ざるため市中極度の品薄を傳へられ従つて氣配は駭りと云はれてゐる。

型 鋼 小形アングルは最近弗々外註品の入荷もあるが順次消化

されてゐるので氣配は強含保合である。中形アングルは最近當所よりの積出しや順調となつたので市中在庫は常態に復した様であるが、目先外註品の入荷氣構へで相場は頭重い。50, 65, 75mm 等は日用品であるので幾分氣は持つてゐるやうであるが先物は安値唱へであるが。大形アングルは 11 圓—11 圓 50 錢見當で弗々取引されてゐるやうであるが、最近建築方面よりの纏つた註文がないため商内の妙味はない。チャンネル中形ものは當所よりの荷廻り皆無なるため目立つて高い。65×125, 2½×6", 75×150 等は賣行良好にて市中品薄と相俟つて相場は 20 圓以上を唱へられてゐる。ジョイストも中形ものは品掠れのため相當な値頃を見せてゐるが其他のものは概して鈍重保合。

鋼 板 1、2 中板は弗々荷動きあるも引續き大量の外註品入荷あり従つて氣配は區々と云はれてゐる。厚板は舶來品の多量の註文あるも賣行も比較的良好なる所から相場は 14 圓揃みを唱へられ目先も悲觀材料は見當らぬ。薄板は極度の賣行不振のため大暴落を演じた模様である。

線 材 相變らず製品界の不振にてロッドも漸落歩調を辿り恐ろしく閑散な場面である。

鐵 力 板 引續き外註品の大量入荷あり市中在庫豊富となり、且つ地方筋は一齊見送りの態度を持して居るので氣配はますます混沌たる有様で依然局面打開の見込みたゞの様子である。

販 賣 旬 報 第 228 號 昭和 8 年 5 月 2 日

製 鐵 所 販 賣 部

副 製 品 2、3 について

1、モーターベンゾール型録規格改正

⑤もので通つて居る當所モーターベンゾールは今ではガソリン代用の燃料として使用せられるものは殆んど 1 部に限られ大部分はゴムの溶劑と飛行機用として活用せられて居るが、需要方面の變遷につれ昨今品質上型録の規格を改正するを適當と認められるに至つたので一般向のモーターベンゾールは今後次記の様に規格を改正することゝなつた。

但し上は單に型録記載の規格を改正するものであつて現物は從來のものと同様で少しも變更せられるものでない。改正規格左の如し。

比重(攝氏 15 度) 0.87—0.88

蒸 餾 試 驗 攝氏 100 度迄 40%以上
攝氏 120 度を 80%以上

終 餾 溫 度 攝氏 150 度以下

凝 固 點 攝氏零度以下

水 分 遊離水分なし

用 途 ガソリン代用、ゴムの溶劑

2、2 號クレゾール名稱改正 當所 2 號クレゾールは生産開始當初はクレゾールを多量に含みキシレノールは少量であつたが、近來品質の改良に依りキシレノールが主成分となつたから此後は次記の様に名稱及び型録記載の規格を改正することゝなつた。

但し本品も現物は從來引續き生産中のものと實質上何等變りあるものではない。

1、改正名稱 キシレノール(舊名 2 號クレゾール)

2、改正規格

比 重 攝氏 15 度に於て 1.023—1.04

色 相 淡黃色或は無色

分餾試驗 攝氏 205—230 度間に全部餾出す

用 途 工業藥品及び衛生藥品原料

3、オルソクレゾール販賣開始 豫ねて鋭意研究中のオルソクレゾールは昨冬より生産販賣の豫定であつたが、設備の關係上其後生産時期を變更し去月より少量ながら本格的に生産せられるに至つたので今同 5、6 月渡として第 1 回の契約をなすことを得た。

曩に昨年 11 月、12 月渡として初めて販賣を開始せる 新局方クレゾールと共に⑤新生産品として在來の當所クレゾール同様に本品も亦近く巷間に獨自の活躍をなすであらう。

4、モーターベンゾール据置 市價の昂騰につれ疏當り 10 圓、15 圓、20 圓と 1 期毎に連續的に驚異的の値上を來たせる當所モーターベンゾールも經濟界全般的人氣下火に漸く市價は落付模様を示すに至つたので、相變らず供給不足状態にはあるが大口契約者の要望を容れて來期 (5 月、6 月) 渡の新契約品は過日大阪に於ける協議會で据置のことに決定した。

隨時契約向新定價格は次の如し。

70 吨以上契約	35 吨以上	30 吨未満
240 圓替	250 圓替	260 圓替

(備考) 以上八幡工場渡容器付 1 吨當單價なり

其他 100 %ベンゾール、ソルベントナフサ及び製鐵テレメン油も續騰のあとを受け來期 (5、6 月) 渡新價格は何れも久方振りに据置となつた。

5、6 月積賣出六軌會—3 圓上げ

月日場所 4 月 25 日 八幡市製鐵所販賣部

出席者 日本レール、島田、五十嵐及製鐵

議 事 輕軌條賣出に關する件

1、値 段 買手提案として今日の經濟界の趨向は強弱の材料交錯し昨日の不安は今日の歡喜、今日の喜悅は明日の悲觀と殆んど其趣く處を想像し得ざるといふ状態にて従つて鐵鋼に關しても根幹として進むべき一定の方針も立ち兼ねる状態なるを以て今回の六軌會の賣出しに就ても其數量、値段も確乎たる希望も述べ得ず、寧ろ賣手側の製鐵所の御意見を承り度しと云ふに對し、製鐵所は現在の輕軌條に就ては一般の傾向より判斷して別に悲觀もせざると共に、大なる樂觀もせざる状況にて諸原因の出現を俟て善處すると云ふ程度であると云ふ説明があつた。

外注値段に就ては前回に對し今月は磅建にて比較は困難なるも、河岸着としては前月より 5 圓餘の高値を示して居るも、以上の如き事情を加味して 3 圓上げと決定した。

一般向賣出値段 イ、10 哩未満 113 圓 (3 圓上げ)

ロ、10 哩以上 111 圓 (〃)

2、數 量 數量は買手側は現今の利到せる注文の處理上何とか 6kg レールの増産を希望されたるも工場側は技術上及び原料關係又は他鋼材の振合もあれば、早急に處置も出來ざれば何れ研究することとし、今回の賣出數量は今迄の停滯もあれば兩月にて 3,000 吨の賣出に願度しと云ふ希望があつたが、過去の輕軌條の事情より僅少に留むるが可なるべしと云ふ製鐵所側の注意もあつて結局買手意嚮通り 2 ヶ月分にて 3,000 吨の賣出しとした。

外 注 値 段

Cif	£ 5-13-6 (com' on, interest included)
Exch. \$ ½¾	¥ 92'33
Duty	21'63
Charges	1'30

¥ 115'31 per long ton
113'49 per K. T.

5、6 月積鉄力板の引受

1 ヶ月約 7、8,000 吨の需要に對して先物の賣出數量が 600 吨では益々引張り風なので例に依り申込は省略、20 日締切で各社に割當てられた。

5、6 月積鉄力板申込及引受高

區別 向先	申込高	引受高		
		100lbs	170lbs	計
東 京	—	89	178	258
大 阪	—	86	204	290
名 古	—	7	17	24
其 他	—	8	20	28
計	—	181	419	600

6、7 月積綹鋼板賣出協議會—3 圓 50 錢上げ

月日場所 4 月 20 日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、安宅及製鐵

議 事 6、7 月積綹板賣出に關する件

1、値 段 中板は値上げされたが厚板は据置であるし、市況は昨今頓に沈衰して全般的に商談皆無に 3 ヶ月分の需要數量に相當する程の輸入も現れた事として買手としては据置を第一希望とし、萬止むを得ねば極く少額の値上げに留められ度いと事であつたが、製鐵所としては中板、厚板、市況は勿論考慮するも從來綹板の市中相場は甚しく高値にあつたので未だ充分値上げの餘地有りとは思ふが、四圍の情勢を斟酌し買手の希望にも添ふ事として値上の額に於て歩み寄り 3 圓 50 錢上げと決定した。

2、數 量 前月通り 230 吨

3、締 切 25 日

5、6 月積黑鉄共販賣出理事會—賣止め

月日場所 4 月 20 日 神戸市オリエンタルホテル

出席者 川崎、中山、徳山、日鋼、製鐵及 4 社

議 事 5、6 月積黑鉄賣出に關する件

1、買手希望 理事會に先ち買手側より提出されたる希望案及其説明次の如し。

5 月積黑鉄賣出に關する 4 社希望案

1、今一舉に値下を斷行するも市場に貨多く徒らに市價を下押す結果となるを虞るゝ故茲許 1 ヶ月賣止めせられたし。

但し問屋及鍍金業者に對し 4 社はアウトサイダーの製品を買はしめざる事を期す

2、無條件にて賣止めするを不可能とすれば内地向の賣止を條件として輸出向 5,000 吨 (多少厚物を含む) 140 圓 替 (薄物標準) にて引受する用意あり 但書は第一項と同様とす

3、アウトサイダーを共販に加入せしめ又は是等と生産及販賣協定をなし統制を採られたし

説 明 半歳の間稀有に恵められたる鐵鋼界有難たからぬ轉の先頭を承つて黑鉄は先月より俄然市況は一變し、賣行極度に萎縮し製品及原鉄の滞貨日を経るに従つて増加し、黑鉄は他鋼材に比して騰落のカーブ尖鋭なる關係上其打撃特に甚しく、今日は已に如何とも施すべき策無く掛手傍觀の狀態にて只々市場の滞貨の減少を待つのみなり、之が爲め 買手の希望としては 1 ヶ月賣出を中止せられたし。

此は買手としては最上の希望なるも賣手側に諸種の事情ありて若干にても賣出を是非必要とせらるゝなれば内地市場に影響を及ぼさざる様輸入向だけに賣出すことゝせられ度く、然も其値段は今日の狀態は外注値段を標準としたものにては決して海外の買氣を喰ふことを得ず、現在にても已に平板 150 圓、浪板 130 圓程度と云ふ

相當安値にて賣應じ居る有様なれば是等を参照して多分の危険は含まるゝも共販にて 140 圓替にて賣らるゝとすれば 4 社の危険に於て 5,000 吨は引受くるだけの用意はあるも出来得ることなれば敢行せざることを希望す。

但書に就きては先月の協議会の席上にも同様の提案ありて、今更らしく書き立つる必要無き様なるも先月は諸種の事情により東京の千住鐵板のものに就き此趣旨を實施し得ざりしも、今月は「期す」と云ふ相當決意を示したることなれば此點御諒承を乞ふと云ふことであつた。

2、理事會 a 理事長の交迭 昭和 6 年以來共販の理事長として御盡瘁あつた石井理事長は今般川崎造船所を退職せられたると共に共販理事長を辭任され、川崎造船所の川崎芳熊氏が就任せらるゝことゝなつた。

b 賣出の對策 黑鉄界の大勢は買手側提案にも見る通り黑鉄の性質上弾力性を缺く爲め特に急激なる悪化状態となり、現在にては外注値段を没却して建値せざる可からざる程度たるは事實なるも其半面に於て 1 部にては已に押目買の氣配も散見せらるゝ事實より見れば趨勢としては已に底近しとも觀察せらるゝを以て共販としては此際特に慎重なる對策を講ずる必要あり、先づ「買手希望第 1 項通り賣止め案」と「値段据置きとして一應は賣應すること」の 2 案が出て兩者の利害得失に就き種々論議されたが、結局何れの案とするも内地向に就ては理論上若しくは實質上賣止めとする意向に就ては一致し、輸出向の可否に於て研究したが買手の第 2 案の如きも要するに共販の腰の強弱を想像しての對策にて實際問題としては不徹底の感あるを以て共販は敢然、今 1 ヶ月内地は勿論輸出向共賣止めを爲すが最上の方策と云ふ結論に到達し實施することゝした。

但し厚物に就ては薄物と事情を異にする故希望の向は前月通りの据置値段にて相談に應ずることゝし理事長一任と決定した。

猶希望第 3 項アウトサイダーの件は時期尚早と云ふ回答があつた

3、締切 事情以上の如くなるを以て締切りも行はず厚物も理事長にて適宜處理することゝした。

Black sheets quotation FOR DOMESTIC

Osaka, Apr. 19th, 1933.

3' x 6' x 290s Narrows 29 1/2"		
C.I.F.	£ 12-5-0	£ 12-0-0
1/2. 1/2	¥ 202.75	¥ 198.62
Int. 1.3%	2.64	2.58
L/C	.80	.80
Duty	43.50	43.50
Per 29cs	¥ 249.69	¥ 245.50
Per sheets	861	6'-38cs-¥ 0.6447-325s-¥ 209.52
Per 268s	230.74	7'-32cs- 0.7656-276s 211.30
		8'-29cs- 0.8448-246s 207.82

Average.....¥ 209.54

Black sheets quotation FOR EXPORT

Osaka, Apr. 19th, 1933.

3' x 6' 29cs Narrows 29 1/2"		
C.I.F.	£ 12-5-0	£ 12-0-0
1/2. 1/2	¥ 202.75	¥ 198.62
Int. 1.3%	2.64	2.58
L/C	.80	.80
Per 29cs	¥ 206.19	¥ 202.00
Per 29cs	190.55	6'-38cs-¥ 0.5316-325s-¥ 172.77
		7'-32cs- 0.6312-276s- 174.21
		8'-29cs- 0.6965-246s- 171.34
		Average.....¥ 172.34

6、7 月積厚板共販締切理事會一申込 1 萬 6,000 吨

月日場所 4 月 24 日 製鐵所東京出張所

出席者 浅野、東海及製鐵(川崎缺席)

議事 6、7 月積厚板の申込

前回の申込までは大體 3 萬 5,000 吨が中心となつてゐたが、老たなる外注に警戒氣分の萌してゐた處へ鋼材界が全般的に氣迷商狀を呈し先行不透明となつて、善惡の岐路に立つたと見る向もあるので應變性の濃厚な厚板は其の本性を發揮して美事に 1 萬 6,000 吨と逃げてゐる。

尤も此の數量とても決して需要の實體ではなく、多分に思惑が含まれてゐる事勿論であると云はれてゐる。

今月は久し振りに東海が引受けたので、それ丈け前月より増加して 3,680 吨の引受となつた。

6、7 月積厚板申込及引受高

向 區	先 別	東 京	大 阪	名 古 屋	其 他	計
申 込 高	川 崎	—	1,075	—	—	1,075
	浅 野	1,830	300	—	—	2,130
	東 海	—	50	—	—	50
	製 鐵	3,070	1,475	—	400	4,945
	無指定	1,230	6,615	10	130	7,985
	計	6,130	9,545	10	530	16,185
引 受 高	耳 付		3,290			3,290
	定 尺		390			390
	切 板		—			—
	計		3,680			3,680

ブラッセル齋藤囑託通信

4 月 3 日 發信 市況は格別御報申上ぐる材料御座なく、前報通り鋼板を除き閑散無事に御座候、共販機關組織の委員會は 3 月末巴里に開催せられ割當量につき中々一致を見ざりし由に御座候

東西市況一低迷

外注來、入荷順調に新規引合は見送られ、來勤と云ふに商談至つて閑散と來ては依然として人氣一向に引き立たないが、近來の好況に慣れた身が兎角強氣を誘ひ、安値を嫌つて賣り溢るのと此邊を下げ止りと見度がる一方、潜行しつゝあるインフレーションに期待を繋ぐので茲許頭重い商狀ながら安外突飛な下げもあるまいと云はれてゐるが松岡代表が上陸勿々「我が國民は眞實非常時を認識してをらぬ、國外から觀察して自分は痛切に非常時の非常時たる所以を知つたと」語つた如く非常時は國家の事として兎角燈臺は元が暗いと云ふ點に於て全く現在の市況は暗雲低迷して不透明なる事夥しく當業者自らは環境の見極めもつかず前途の判斷も下し得ず善惡共に只何となくと云ふ氣分に支配されてゐると見られてゐる。

東京市況

丸 鋼 6mm、8mmは大阪方面に伸鐵品が溢れ而も賣行涉々じからざる爲め 9 圓 6、70 錢にまで落ち込んだ時もある状態では東京丈けが良からう筈もなく一段と軟化し 9mm、12mmは荷動少く組合の協定値頃を彷徨して辛くも 10 圓 50 錢堀を死守してゐる。

ベースは一時大阪の急落を傳へられ且つ新規引合も途切れ勝であつたに不拘統制力に助けられて落調を防いでゐるが、中丸以上は當所品の出廻順調と舶來品の散見に前旬に比して復々 1 圓 50 錢方の下押となつた。

角、平 鋼 角 9mmは伸鐵に脅かされて下放れ 15mm 以上は稍々品薄に弱含みながら保合平鋼も亦 6×75、9×100 が品薄の爲め比較的好調と云はれてゐるが角、平共に丸鋼と同じく小賣筋の注文見送りと出廻り順潮の爲め概して鈍調である。

型鋼 小型山形は 13 圓臺を持してゐるが品と大阪方面より伸鐵物の入荷ありし爲め 12 圓と下流れ中型は比較的需有りながら入荷の順調と外注品の多いのに氣を悪くして 11 圓前後と軟化し大型は在庫豊富と 12×130×130 等に舶來物多少入荷せりとの報を聞き弱含みながら中型程の外注ではないので軟弱ながら此の邊が底ではあるまいかと見られてゐる。

溝は相當在庫を抱へてゐる上に僅の入荷にも堪へないものなので當所品の出廻りにダレ氣味となり、工形は西路にて安値物を買集めた向があつたとかで比較的賑りを唱へられてゐる。

型鋼は官廳方面への納期の關係で荷動が有つたのと 4 型、1、2 中型が相變らず品薄なので他鋼材に比して稍好調と云はれてゐる。

鋼板 蒔いた種を無我夢中で刈つたのは鋼板であるが外注が思つたよりは少かつたので現在では多少冷靜を取り返した觀がある、一頃の暴落も 26 日頃大阪から見込買注文殺到した爲め 16×4×8 は 15 圓から 16 圓 50 錢に 32×5×10 は 12 圓から 15 圓にまで引返へし其の他にも一齊に昂騰したと云はれてゐる。

厚板は割合に出廻り良く、外注品も需要家の倉庫にかくれたのか市場に出る物少い爲め 12 圓の底値から 5、60 錢方戻して 6mm 13 圓 9mm、12mm は 12 圓 50 錢を唱へられてゐる。

大 阪 市 況

丸鋼 何やらの臺詞ではないが満つれば脛くる世の習ひの例への通り我鋼材界の活況に乗り猫も杓子も外注に走つたため、昨今ではこの外注品の大量入荷あり従つて買手は目先一段の安値を氣構へて買氣をもらすものなく、或寸法によりては更に安含みのものもあり、依然活氣に乏しい市況から人氣は前旬來續いて不味の成行を示してゐる。散ればこそいとゞ櫻は目度けられ、けれどもけれどもそうぢやけれども、とは蜀山人の狂歌であるが、この「けれどもけれども、さうぢやけれども」で、やつぱり苦になる。有頂天になつて浮かれた後味の悪いのは理の當然か。6mm、8mm は市場伸鐵品も遂にちやぶつくやうになり、且つ民間メーカーも 10 圓以下に賣應ずる様子も覗はれるので相場は 10 圓摺みを唱へられてゐる。9mm は前者に比して幾分需給のバランスがとれてゐるので相場も 10 圓 3、50 錢を唱へられてゐる。12mm は賣行拂々しからず、従つて市中ストック漸増の態にて従つて相場も釘付け化されて面白味は乏しい。ペース物は一時 9 圓 80 錢まで下押したが當所の先物發表値段も相當高いところから昨今又復 10 圓 1、30 錢まで引返した様である。中丸は外注品の大量入荷のため不冴。太丸は凡調。

虎 枝 の 市 に 出 づ れ ば し ぼ み 龜

角、平鋼 角鋼は丸鋼の落潮を移して悲觀人氣となり相場は遂に 10 圓 70 錢搦みとなつた。目先も依然局面の打開は思えないであらうと見られてゐる。平鋼は舶來品の入荷に氣を腐らし相場は頭重いようである。

型鋼 小形アングルは一時拂底を傳へられてゐるが、最近 4 社の中某社の手を通じ引續き舶來品の大量入荷あり従つて相場はじり安歩調を辿つてゐる。中形アングルも亦外注品の入荷あり搦て加へてアウトサイダーよりデリバーリ圓滑のため相場は 11 圓 50 錢搦みに反落した。大形アングルは採算上外注を手控へたと當所より出廻り悪いため氣配は強含み保合を示してゐる。チャンネル 2½×5、2½×6 等は極端なる品掠にて相場は異常に高い。其他のものは弱含み保合。ジョイストは當所より荷廻り不順調なるため市況は駭りと云はれてゐる。

鋼板 1、2 中板は引續き外注品の入荷あり且つ一部間屋筋の利

喰ひ投げのため相場は大暴落を演じたが昨今では利喰ひも一巡したので幾分反動を示すに至つた。厚板は舶來品の大量注入のため大暴落。

線材 釘、針金等の製品界の不振のため前旬來又復 10 圓方の大暴落を演じた。目先も何等手がかりになる好材料不見當。

鐵力板 弗の不安其他日印通商條約廢止等惡材料の出現に輸出は中止の形となり一方舶來品の大量入荷のため買手は先安氣構へに見送りを持續してゐる。

販 賣 旬 報 第 229 號 昭和 8 年 5 月 11 日

製鐵所販賣部

7、8 月積先物協議會—2 圓上げ

月日場所 5 月 9 日 製鐵所東京出張所

出席者 4 社、製鐵及東西問屋

議 事 7、8 月積角、平、大型物先物賣出に關する件

1、値 段 買手の希望次の如し。

外注値段は歐洲カルテルの成立により前月に比し 7、8 圓高を報じたるに拘はらず、内地市況は薄板、線材の悲境に端を發して環境漸次惡化し、夫に影響されて大型物も漸落を見、特に需要方面に關しては實際の消費力が減退したるか或は押目に買控へたるか兎に角 4 月に入りてより極度に不振となり、只豫算關係により新規需要待ちの状態にて全般に氣迷ひの商狀を呈し居るを以て彼此綜合して今回は据置とせられたしと云ふことであつた。

賣手は買手の意見もさる事ながら標準たるべき外注値段は懸絶して昂騰したる事情もあり、市場刺戟の意味も加へ相當値上げするが理論上正當なるも買手の希望も參酌して穩健に推移せしむる爲め一律に 2 圓上げとを提案し其通り決定した。

2、契約附帶條項に關する件 早晚出現すべき日本製鐵株式會社に引繼ぐ必要上先般 4 社との契約品に對し別項の如き附帶條件を付して契約したるを以て此條件は當然問屋へも轉嫁されたることと考ふるが、此は製鐵所としては未成立の日本製鐵を對稱としたる關係上此文面となりたるものにして、實質上は當然製鐵所と 4 社の契約を其儘日本製鐵に引繼ぐ主旨にして、寧ろ買手側より其契約の廢棄を申し出でらるゝを懸念したる前提の下に加へられたるものに就き其趣旨を誤解なき様諒承せられたし。

契約に關する附帶條項

製鐵所ノ事業ガ廢止セラレタルトキハ本契約ハ引取未済ノ部分ニ付之ト同時ニ其效力ヲ失フモ新ニ設立セラルベキ日本製鐵株式會社ニ於テ右契約ノ打切部分ニ付當方ニ對シ本契約ト同一ノ條件ヲ以テ契約ノ締結ヲ通知シタルトキハ當方ハ必ず異議ナク之ヲ承諾スルコトヲ約ス

6、7 月積當所先物の申込と引受—申込 1 萬 4,000 餘噸

最近の市場は永い間の異常の好調の反動に落潮を辿つては居るが未だ、先行に對し底意に多分の期待を繋いで居るので無下には下げずと云ふ日和見を續けて居る關係が近來當所の先物締切なども甚だしく遅延し、今頃前月の申込を發表する様な體たらくである、期日は嚴守したいものである。書く身になつても昨今の様に環境が顛轉を重ねて居る際、餘り古い事を書かせられると一向に氣乗りがせず従つて其當時の實際の狀況を記録に残すことが出来ないのは残念である。

それは兎に角 6、7 月積の申込は別表の通り 1 萬 4,000 噸で未だ相當の買氣の潜在して居る證左とはなるが、これも賣出を 3,200 噸

と制限したのを規つての申込と解釋せられぬでもないが、大型物に

7、8月積先物協議會

品名	入電沖着	河岸着値段 (爲替 $\frac{1}{2}-\frac{3}{8}$)	希望	決定	備考
角鋼ベース	£ 4-17-6	¥ 107'24	97	99	¥2'00 上げ
平鋼(本所分野)	4-17-6	107'24	97	99	"
大型山形鋼	4-16-0	106'00	96	98	"
工形鋼	\$ 4-14-0	104'36	92	94	"
溝形鋼(吋寸法)	5- 5-0	113'40	105	107	"
"(耗寸法)	4-13-0	103'54	92	94	"
丸鋼ベース	£ 4-17-6	107'24			
" 9mm	5- 7-0	115'03			
中小型山鋼形	5- 0-0	109'29			
鋼板 6mm以上	6- 3-3	128'39			
" 4.5mm	6- 3-3	123'39			
" 3.2mm	6-13-0	136'40			
" 2.3mm	6-17-0	146'53			
" 1.6mm	7- 0-0	148'99			
線材 B.W.G. No5	\$ 24'00	126'38			
黒薄鋼板	£ 12- 5-0	248'53			
鉄力板 170 lbs	1-13-9	29'90			
" 100 lbs	0-18-4	16'29			

限つては大した輸入も期待されずアウトサイダーもないから統制の仕様によつては平靜な推移を圖ることが出来るであらう。此申込中には角、平の 1,700 吨許りが含有されて居るから、大型オンリーでは 1 萬 2,000 餘吨の申込である。

引受に就ては前月同様工場の状態が主要な原因となり且つ市場關係も此際受注を或程度制限しても決して再び奔騰せしむる様な懸念もないので 3,200 吨と決定した。角、平は定期もあり且つ能力關係により受注せざることとした。

6、7月積先物申込高

品名	場	東京	大阪	名古屋	其他	合計
角鋼	銅	360	240	105	33	738
平鋼	鋼	400	360	70	140	970
等山形	鋼	460	755	10	2	1,227
溝工形	鋼	400	760	10	14	1,184
溝工形	鋼	1,975	3,603	185	19	5,782
溝工形	鋼	1,115	2,850	75	—	4,040
合計		1,710	8,568	455	208	13,941

6、7月積先物引受高

品名	工場別	1、2 小形	3 小形	1 中	2 中	1 大	2、3 大	4 型	合計
角鋼	銅	—	—	—	—	—	—	—	—
平鋼	鋼	—	—	—	—	—	—	—	—
等山形	鋼	—	—	—	—	—	177	—	177
溝工形	鋼	—	—	203	35	—	158	—	396
溝工形	鋼	—	—	—	156	241	817	517	1,731
溝工形	鋼	—	—	—	—	—	802	94	896
合計		—	—	203	191	241	1,954	611	3,200

7月積賣出三S會一復々据置

月日場所 5月4日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、三菱、高島屋、芝浦、日立、三菱電氣及製鐵

議事 7月積珪素鋼板賣出に關する件

1、値段 cif は再び前月と同様に、特に不思議なるは Bismark hütte が弗建にてありながら何等 Cost の變化なき状態なるは聊か不合理にて買手の言によりても可なり古きものゝ由にて大して參考とならざるものと思ふ。

値段に就ては外注に大なる變化も無き故前月と同様の理由により据置きとされたしと云ふ希望があつた。

賣手の意見は前月の提案もあり、可なりの下軌にあるを以て 10 圓上げを主張したるに對し、買手は市場が飽和状態にて甚だしく軟

調を呈し、然も川崎の進出益々鮮明となりたるを以て寧ろ値下げを希望したき折なれば是非据置きをと申出あり結局買手側の事情を斟酌し今回は据置きと決定した。

猶 T 級の積出は順調なるも B 級が甚だしく遅延し困却しあれば是非積出に注意せられたしとの希望あり。

(イ) 電働機珪素鋼板 B 1 級

函入のもの 1 吨に付 金 305 圓 (据置)

裸バンド締のもの " 金 295 圓 (据置)

(ロ) 電働機珪素鋼板 C 1 級

函入のもの 1 吨に付 金 325 圓 (据置)

(ハ) 電働機珪素鋼板 D 1 級

函入のもの 1 吨に付 金 345 圓 (据置)

(ニ) 變壓器用珪素鋼板 T 1 級

函入のもの 1 吨に付 金 420 圓 (据置)

(ホ) 2 級品 2 割以内混入差支なし

2 級品の賣價は各々 1 級品賣價の金 30 圓引のこと

(ヘ) 珪素鋼板厚物は T 級品は金 10 圓引其他のものは各種共金 5 圓引のこと

2、數量は大體前月通り 1,200 吨以内とした。

3、雜

1 運賃の件 本年 7 月積より汽車運賃を次の通り改正した。

(イ) 常盤線助川驛貨車載渡

製鐵所構内より直送のもの 1 吨に付 14 圓

隅田川驛經由のもの 1 吨に付 4 圓 50 錢

(ロ) 神戸市和田岬驛貨車載渡

製鐵所構内より直送のもの 1 吨に付 8 圓

(ハ) 九州線長崎驛貨車載渡

製鐵所構内より直送のもの 1 吨に付 4 圓 50 錢

2、保險の件 本年度珪素鋼板の運送保險は種類の別なく 1 律に

1 吨に付金 400 圓也を附することゝなり 夫れ以上の保險は各社各自勝手に取計ひのことゝなつた。

4、締切 5 月 8 日

Latest current prices of Electrical Sheets

	English		Germany	
	Stalloy (T)	Special Lohys (B)	Bismarkhütte (B)	
cif. or C & F	£ 27-7-9	£ 20-18-9	\$	60
Exchange $\frac{1}{2}-\frac{3}{4}$ $\frac{23}{28}-\frac{3}{8}$	¥ 445'62	¥ 340'67	¥	253'96
Marine Ins.	—	—	0.7%	1.78
Interest	5.79	4.42		3.29
Import duty	6.77	6.77		6.77
Landing chg's	1.10	1.10		1.10
per long ton	459'28	352'96		266'90
per 1000 kgs.	452'02	347'38		262'68
last month	451'72	341'73		294'00

7、8月積賣出美板會一据置

月日場所 5月4日 製鐵所東京出張所

出席者 三井、高島屋及製鐵

議事 7、8月積美裝鋼板賣出に關する件

1、値段 美裝鋼板は當然中板に關連し居るに、近來の如く中板界の押氣配は美裝鋼板に響し、需要特に減退し居るを以て大阪筋の希望は鳩を 3、5 圓下げ、鶯を据置と云ふにあるも、今日値下げする時は徒に業界を益々悪化せしむる原因ともなるのみならず中板の

狂奔の際も堅實に下値を維持したる美装鋼板としては別段値下げの必要なきを以て全部据置きと云ふことに決定した。

2、數量 買手希望は鷺印を増量されたとの希望ありたるも、製鐵所は工場の關係上寧ろ鳩印を増量を望む状態なる故結局前月通り 400 吨として鷺、鳩印半々の賣出と決定した。

3、締切 5 月 10 日

6、7 月積小型山形の決定値段と締切

4 月 4 日の賣出理事會には外注入電が無かつたので未決定の儘持越された小型山形鋼 6、7 月積の値段は 13 日前月の 2 圓上げと決定され、申込は 17 日の締切までに賣出の 1,200 吨に對し 1,853 吨となつた。

引受數量は前月の丁度半数であるが大體 1,000 吨が需要の標準であるし、メーカーの努力に依つて積出も順調に數量も過不足の無い處なので外注品の助力を要望する事もなく申込も他鋼材に比し稍々實數に近く比較的堅實なる状態を示してゐると云はれてゐるが、大量外注品の入荷が有つたとも噂されてゐるので折角の努力も或は荒されるのではあるまいかと思ふ向もある。杞憂であつて欲しいものである。6、7 月積の賣出及外注値段と申込及引受高次の通り

1、(イ) 賣出値段 決定は 4 月 13 日

3mm×20mm	112圓	3圓上げ
3mm×25mm—5mm×30mm	107圓	〃
5mm×40mm—6mm×45mm	102圓	〃

(ロ) 外注値段

種 類	沖 着	爲 替	河岸着
3mm×20mm	1850	21 1/4	11281
3mm×25mm—5mm×30mm	1800	〃	11050
5mm×40mm—6mm×45mm	1700	〃	10586
	1575	〃	10007

2、締切日 4 月 17 日

3、申込及賣出數量

6、7 月積小型山形鋼申込高及引受高

區別 向先	申込高			引受高			
	釜 石	製鐵所	計	釜 石	製鐵所	外注	計
東 京	310	598	908	281	222	—	503
大 阪	330	485	815	281	300	—	581
名 古 屋	25	63	88	25	63	—	88
其 他	21	21	42	13	15	—	28
計	686	1,167	1,853	600	600	—	1,200

7、8 月積小型山形共販賣出理事會—据 置

月日場所 5 月 5 日 製鐵所東京出張所

出席者 釜石、製鐵及三井

議 事 7、8 月積小型山形鋼賣出に關する件

1、積出に關する件 永い間積出遅延に苦んだ小型山形も兩社所の努力により順調に恢復しつつあり、釜石、製鐵共 4 月には 各々 1,000 吨位の積出があつた筈との報告あり。

2、値 段 最近市場も入荷の圓滑と賣行の不振により漸く手持ちも出來て、あれほど存在を認めなかつた伸鐵物がそろそろ目に付き出す程度の軟調となり、特に伸鐵の本場たる大阪方面にては弱氣が勢力を占む様になつたが、それとて未だ値段が平均された位で相當の利が乗つて居るのは事實である。

一方外注値段は國際販賣組合の結成を轉機に硬化したるを以て大義明分より判斷して賣手は値上げを主張したるも買手の意見は斯る買氣の鎮磨した市場の状態では寧ろ限月整理の意味より 1 ヶ月賣止めを希望する位なるも、之が却つて賣手弱氣の如く市場に解釋せらるゝことも不本意故伸鐵關係と丸鋼等他鋼材の狀勢を加味して是非

据置きとの希望あり結局市場の趨勢を觀察する意味より買手希望通り前月据置きと決定した。

3、締切 5 月 10 日

Small Size Equal Angle Quotation

Tokio, May 5th, 1933.

Specification	Hambnrg tel. May 3 rd 33.	Exch. @ 1/2—1/2
$\frac{1}{2}$ " × $\frac{3}{4}$ " (3×20)	£ 5-15-0	¥ 120.79
$\frac{1}{2}$ " × 1" (3×25)	5-11-0	117.53
$\frac{1}{2}$ " × $1\frac{1}{4}$ " (3×30)	5-8-0	115.09
$\frac{1}{2}$ " × $1\frac{1}{2}$ " (3×40)	5-8-0	115.09
$\frac{3}{8}$ " × $1\frac{1}{4}$ " (5×30)	5-8-0	115.09
$\frac{3}{8}$ " × $1\frac{1}{2}$ " (5×40)	5-4-0	111.84
$\frac{3}{8}$ " × $1\frac{3}{4}$ " (4×45)	4-19-0	107.76
$\frac{1}{4}$ " × $1\frac{1}{2}$ " (—)	5-3-0	111.02
$\frac{1}{4}$ " × $1\frac{3}{4}$ " (6×45)	4-19-0	107.76

4 月中三港輸入概況—3 萬吨近し

旬報の輸入概況が市場から殆んど忘れられ、無用の長物視せられたのは昨年の 7 月中に 3 港で 1 萬吨臺を割つてからで未だ 1 年と経過はして居ない。そして大爆發をした 9 月には實に 5,000 吨に足らない數量となつて世間から輸入は無關心事となつた。それも束の間で、それがよいか悪いかは別問題として最近 10 日々々の此概況に注目するの餘儀ない状態となつた。

譬へが悪いが知らぬが濱の眞砂と何とやらで、中々輸入の種は盡きぬものである 4 月は來るべきものが當然來た。3 月に 2 萬吨で、來たなと思ふ間もなく 4 月は 3 萬吨近くの數量となつた。

儲かる儲からぬは別として、其當時はどうしても輸入しなければならぬ様に考へた數量もそれが來る時分か遅くも來てから 3 ヶ月経ると不思議にもそれだけ餘分になるのは今迄毎々繰返される明瞭な事實でありながら、已むに已まれぬ騎虎の勢と云ふものに支配されて相も變らず前車の轍を踏んで居る。今回も恐らく此規範は脱することは出來ないと思はれる。

先づ前年同期と比較の必要がある。

前年は丁度例の犬養景氣に煽られてやはり 4 月、5 月に 多量の輸入を見た。去年の入荷の仕方は 1 月から月を追ふて 1 萬 2,000 1 萬 2,000、1 萬 4,000、2 萬と云ふので 4 月迄で約 6 萬吨となつたが、今年は 1 萬 2,000、1 萬 2,000、2 萬、2 萬 8,000 と増加し、其傾向は同じであるが、増加率は勿論今年が多い。結局 4 月迄で去年よりは 1 萬吨以上の増加である。

内容を見ても先づ丸鋼が多い。これは主として中丸、太丸である 甚だしいのは鋼板 (0.7 耗超) で、正に桁違ひで去年の 2,400 吨に比し今年の 2 萬 1,000 吨で、如何に鋼板が踊つて居るかゞ窺はれる。

何時もながら鉄力の變らぬ輸入は不思議な存在である。

其他は似たり寄つたりで要するに現在まで、は去年より鋼板 (0.7 耗超) に格段の差を見出すのみである。

續つて前月と比べて見れば、總吨數に於ては 700 吨の増加であるが内容は大部集つて來て丸鋼、平鋼、等山、特に鋼板 (0.7 耗超) 及線材が愈々其鋭峰を現はし初めたのが看取される。

各港別に就て見ると、神戸の昔時の殷盛は愈々大阪に奪はれて、益々懸絶して來た有様が分る。

各品種を上から拾つて見れば、丸鋼の 2,500 吨は近來の驚異的數量でそれは主力は勿論中丸、太丸にあり且つ大阪が其中心を形成して居るのは現在の大阪市況と照合して良く泳ぐものは良く溺るの感が特に深い。

平鋼も中丸と同様な原因から同様な結果を見たもので、棒鋼中で消費数量の勢いだけ此数量でも利き過ぎる程の緩和剤とならう。

等山は或は序の口かも知れぬが、それにしても可なり思ひ切った数量で然もこれも大阪方の獨断で、言ひ譯には恐らく昂然と例の其當時の積遅れを振り廻すことであらう。

問題は鋼板(0.7耗超)である。中心は無論中板、厚板(12mm迄)で何れ 21 日の旬報には寸法別に詳しいものが出るが不取敢大急ぎで拾った概数を列べて見ると三港合計 1.6耗(950噸)、2.3(200)、3.2(700)、4.5(700)、6.0(1,580)、8.0(360)、9.0(650)、12.0(400)と云ふ数量で、これが東西、中厚板の軟化の原因の基調となつて居るのである。此外 3 耗以上でスクラップとして申告したもので課税されたものに 650 噸あるが、これは伸鐵材料及切板材に使用される様に思はれる。

同じ鋼板でも (0.7耗以下) の輸入手續の済んだものは誠に微々たるものに拘ず國內の此崩落は將して何に原因して居るか組合としても充分研究を要する問題を提議するものである。

鉄力は愈々 7,000 噸を空飛すると同時に内地では 170 封度 26 圓の聲を聞く、これほど因果の明瞭なものはない。

線材には此外大阪に保税物として 961 噸が在る、薄板と同様原料製品には將來とても特別な考慮を必要とするのではあるまいか。

巷間傳ふる處ではない想像する處では今回の輸入は 20 萬噸に及ぶだらう。いや 6、7 萬噸だらうなど云はれて居る。想像は要するに想像で、入つて見なければ分らぬ。これが内注と外注と異なる所以で、亦輸入の此想像力が市況を悪化する原因となつて、少くも内注の 5 倍の力に匹敵すると稱されるのである。數量は云はずとも 5 月、6 月に未だ相當の輸入を期待すると云ふのは 10 指の指す處である。

將して如何なる結果となるか、又一方内地製鋼業者の能力の増加消費力の出現の遅速及其程度等強弱の交錯したる状態が下期に於ける大勢を導くべき主要なる原因を形成する故此處暫くは此輸入にも目を離す譯には行かないのである。

當所でも中丸、中山、鋼板に就ては暫時の間是非輸入速報を必要と感じ其處置を講じつゝあれば最近より 10 日毎の速報が開始されることゝならう。

ブラッセル齋藤囑託通信

4 月 29 日 入電 市場閑散ながら駢り、相場次の通り

棒 鋼	大型山形	中小型山形	工形(BS)
2-13-6	2-13-6	2-15-0	2-10-0
鋼板(3/16")	シートバー	ビレット	
	(assorted)	(4")	
3-12-6	2-5-0	2-4-0	

6 品種夫々の大陸鋼材販賣組合が今後 2 ケ年間を存続期間として結成された。

4 月 9 日 發 信 今週の市況は近く國際共販機關の組織運用を見込先高見込のため主なるメーカーの出場なきため取引殆どなきも相場の唱値は急騰を傳へ大體次の通と相成申候

	Export	Inland
Basr (base)	£ 2-12-0	fr. 500'00
Angles (")	2-9-0	500'00
" (med/Small)	2-11-0	—
Joist N.P.	2-6-0	490'00
" B.S.	2-7-6	510'00
Blooms	2-1-0	400'00
Billettes	2-2-0	380'00
Sheetbars	2-2-6	405'00
Hoops (base)	3-10-0	675'00
Plates 3/16"	3-10-0	600'00

4 月 16 日 發 信 市況引續き堅守にて東洋向棒鋼及鋼板の取引活潑に、愈々近く共販機關組織運用を氣構へ相場は一層騰貴を傳へ申居候

	Export	Inland
Basr (Base)	£ 2-12-6	fr. 500'00
Angles (")	2-10-0	500'00
Joist N.S.	2-7-6	500'00
" B.S.	2-9-0	515'00
Blooms	2-1-0	406'00
Billettes	2-2-0	380'00
Sheetbars	2-3-6	405'00
Plates 3/16" or 5mm	3-12-6	635'00
Hoops (Base)	3-12-6	675'00

東 西 市 況一洞ヶ嶽

昨秋來の鐵鋼界ほど寔に惠まれたものは少ないであらう。昨年中の事は云はずもがなとしても本年に入つてからでも、2 月の末から沈淪するかに見えたが、釜石の震災を切つかけに反騰し、亞米利加の金輸出禁止でもよくよく考へれば弗には大して關係ないと分つて息をつき 4 月には歐洲のカルテル成立しそうだと云ふので下支へとなり、今度も内注外注の入荷で漸く荷凭れ氣味となつて、數ヶ月全然其存在を認めなかつた伸鐵が邪魔になつて困つて居る今日、海外でカルテルが成立したと云ふので外注値段が急騰して今の處何等影響は無いとは云ふものゝ兎に角義理でも下げられないと云ふ状態となつた。

市中の状況は暴君外注の入荷によつて、それ中山が何 1,000 噸！鋼板が何萬噸！と噂は噂を生んで問屋の神經を勝手氣儘に翻弄し反落氣勢も衰へず手持も多くなるので賣りたくもあるが、一方年度變りから相當時日を経たので地方の引合や軍需の勃興を豫期して近き將來再び異變あるものと云ふ氣構へもあり、従つて相場としてはザリ貧ではあるが深賣りは慎しむと云ふ有様で右せんか左せんか、今の處洞ヶ嶽で日和見の態と云はれて居る。

荷動きは全般的に押氣配の際とて一頃の様な大口の思惑買はないが、時期が時期だけに小口の當用買は相當現はれて居ると傳へられて居る。

東 京 市 況

丸 鋼 入荷と賣行不振で全般的に窮屈となつて來た爲め、本場の大阪の伸鐵はあらゆる方面に活路を見出すべく奮闘し初め、先づ指を 6mm に染め遂に東京着 9 圓 50 錢の聲さへ聞く様になつて東京も慘落を演じ、流石の 12mm も伸鐵と舶來に押されて軟調を續け 9mm 及ベース物は賣りたいことは賣りたいが協定値段を割るのも恐ろしく、要するに組合値段に支へられて辛ふじて此値段を保つ程度で組合員外は此限りにあらずと云ふ但書がつく様になつた。それもその筈大阪では大臺割れとなつたから暫くすれば 6mm 同様東京着で組合値段を下廻るのも豫想されるので如何に獨り節操を正しふしても何とも出来ないから、今は只管大阪の硬化を祈るより外はない中丸以上はお望み通り大阪にタンマリと外注品が姿を見せ其上近來當所品も順調に入荷するので先行何等の期待も繋がれず一路軟調を辿るのみと見られて居る。

角、平 鋼 伸鐵の本據角、平が斯る際に堅壘を守るは至難で、細丸を嘗めた餘勢を驅つて日々に此處へ押し寄せる力を増して愈々侵蝕を逞しくして來た。大きいものを除いては平の 6×100 14 圓、6×90 13 圓 50 錢及び別表 6×75 の堅調を餘すのみとなつた。

型 鋼 小山も漸く元の空阿彌に還らんとして 5×40、4×45 など已に 10 圓 60 錢の聲が耳に入る様になつた。中山は大阪方面の大量外注入荷に一氣に反落し東京方面も其餘波を受けて在庫は大し

て無いに拘らずデリ貧となり、大型等山も中型に引き摺られて呆りを傳へられて居る。不等邊も保合とは云ふが値段は前旬より下値となつた。永い間花形たりし溝形も追々と平均されて流石の 65×125 も 12 圓の呼聲さへ聞く様になつて 3×6 のみ獨り踏み止つて居る工形不變。

鋼板 別項三港輸入にも嘔はれて居る通り中板、厚板は實に稀有の輸入を見たが震源地が大阪だけに東京方面は今の處それほどの影響はない、16mmは 3×6 が一時 15 圓 30 錢迄行つたが今は落ち付き模様である。22 は忘れられて居る間に消化されて手當も僅少な爲め手持最も少なく珍らしくも堅調を傳へられ 32 は 13 圓 50 錢買の 14 圓賣と云ふ程度で底堅い。45 は 12 圓で買が出たが其後買下つて 11 圓 70 錢まで行つたと云はれ 60 は入荷の割には案外底堅く最低 12 圓止まりと見られて居る厚板は此邊で一服。

大 阪 市 況

丸鋼 カルテル成立後相場は高値を報じてゐるが、我鋼材界は一向に振はないようである。即ち既報の如く昨今大量の外注品の入荷あり、然して金融の關係上これを投賣する手合もある様子で一方メーカーよりのデリバリーも圓滑になつて來たので市中ストックは漸増の態と云はれ、地方筋竝に建築方面では先安氣構へに總見送りとなり、遂に 10 圓臺割れを現出するに至つた模様である。

6mm, 8mmは引續き大量の舶來品入荷あり且つ伸鐵方面も滞貨してゐるので金融上これを安値に處分してゐるとの事で、市場では一般に氣を悪くし相場は遂に 10 圓を割るにいたつた。9mm及びベース物は伸鐵品の出廻り順調なる所から相場は 9 圓 8、90 錢搦みを唱へられてゐる。12mmは賣行比較的良好なる所から小堅い商狀と云はれてゐる。中丸は當所品竝に外注品の荷廻り順調なるため先旬

來大暴落を演じたやうである。太丸は相變らず可もなく不可もなく推移してゐる。

永き日を無駄の話に過しけり

角、平鋼 角鋼は特筆すべき材料は何等見當らぬが、これは伸鐵品其他外注品等の脅威は比較的少いやうで従つて氣配も小腕りと云はれてゐる。平鋼は丸鋼の不振に連れて軟化し、當所品其他伸鐵品の注入にて市中在庫は漸増の態と云はれてゐる。然し乍ら 3" 以上のものは手當薄にて比較的堅實なる歩調を辿つてゐる。

型鋼 小型アングルは外注品の入荷弗々あるも賣行もやゝ良好なる所から相場も 12 圓見當を唱へられてゐる。中形アングルは昨今共販よりの積遅れ品の入荷あり、かたかた外注品の安賣手合も市場に散見せられ相場は 10 圓搦みに反落した様子である。大形及び不等邊アングルは荷動き弗々もあり比較的手堅く保合つてチャンネル 65×125, 2½×6, 75×150 等は當所よりの手當皆無とあつて 16.7 圓と光つてゐる。其他のものは 12 圓搦みで手堅く保合つてゐるジョイストは市中在庫薄にて相場も相當高値を唱へられてゐるが、目先外注品入荷を氣構へて相場は伸びそうで伸びない。

鋼板 1、2 中板は引續き外注品の入荷あり、然して賣行も不振の折柄とて投物が現はれたとの事で相場は外注原價迄反落したやうである。厚板は相當纏つた輸入もあるが又賣行も良好なる所から相場は外注値段を境に小高下を演じてゐる。

線材 製品界は相變らず極度の不振にて目下賣買共日和見的態度を持してゐる關係から市中相場はデリ貧歩調を辿つてゐる。

鋳力板 爲替不安のため輸出は全く停頓状態にて従つて商内は一向振はないと云はれてゐる。

昭和 8 年 4 月 中 三 港 鋼 材 輸 入 數 量 表

(單位噸)

品 區 分			神 戸	大 阪	横 濱	4 月計	前 月 計	本年累計	前 年 同期累計
丸 角 平 等 不 溝 工 鋼 板 〃 鉞 軌 線 シ ー ト バ イ リ ン 鋼 其 計	等	鋼	540	1,616	297	2,453	870	4,006	2,723
		鋼	91	101	33	225	43	594	428
		鋼	294	648	144	1,086	520	2,176	2,276
		山	—	1,306	204	1,510	994	2,612	323
		山	2	—	135	137	1	138	432
		形	—	—	132	132	148	748	19
		形	—	17	—	17	31	67	581
		超	896	5,838	1,413	8,147	6,497	12,051	2,407
		下	—	366	371	737	—	891	7,864
		力	480	3,212	3,589	7,281	5,680	22,872	20,970
		條	11	65	13	89	100	317	716
		材	356	2,036	1,577	3,969	2,919	8,489	9,263
		管	369	—	—	369	163	865	5,363
		他	17	196	114	327	347	1,322	2,650
		計	310	505	223	1,038	2,034	4,438	3,108
			3,366	15,906	8,245	27,467	20,347	70,86	59,123
硫 石 ナ ク	炭 タ ン ク	安	356	181	559	1,096	3,821	15,317	76,533
		酸	46	15	—	61	5	76	93
		シ	442	120	19	581	581	1,659	1,605
		ル	3	12	19	34	77	1,477	316